

防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事

設 計 図

沖縄県企画部 情報基盤整備課

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	表紙
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	
摘 要		図面番号	
検 印	照 査	設 計	製 図
			施 工 者

図 面 目 録

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	備 考
A- 01	図 面 目 録	NO SCALE	
A- 02	建築改修工事特記仕様書(その1)	NO SCALE	
A- 03	建築改修工事特記仕様書(その2)	NO SCALE	
A- 04	建築改修工事特記仕様書(その3)	NO SCALE	
A- 05	建築改修工事特記仕様書(その4)	NO SCALE	
A- 06	案 内 図	1/500	
A- 07	鉄 塔 構 造 図 (1) B 柱 / A 柱	1/20	
A- 08	鉄 塔 構 造 図 (2) C 柱 / B 柱	1/20	
A- 09	鉄 塔 構 造 図 (3) D 柱 / C 柱	1/20	
A- 10	鉄 塔 構 造 図 (4) A 柱 / D 柱	1/20	
A- 11	鉄 塔 構 造 図 (5) B 柱 / A 柱	1/20	
A- 12	鉄 塔 構 造 図 (6) C 柱 / B 柱	1/20	
A- 13	鉄 塔 構 造 図 (7) D 柱 / C 柱	1/20	
A- 14	鉄 塔 構 造 図 (8) A 柱 / D 柱	1/20	
A- 15	鉄 塔 構 造 図 (9) A 面水平材	1/20	
A- 16	鉄 塔 構 造 図 (10) B 面水平材	1/15, 1/20	
A- 17	鉄 塔 構 造 図 (11) B 1 / C 面水平材	1/10	
A- 18	鉄 塔 構 造 図 (12) C 1 / D 1 面水平材	1/20	
A- 19	鉄 塔 構 造 図 (13) E / E 1 面水平材	1/15	
A- 20	鉄 塔 構 造 図 (14) リング / ラック / 梯子	1/50	
A- 21	塗 装 概 要 図	1/40	
A- 22	仮 設 足 場 設 置 図	1/40	
A- 23	仮 設 計 画 図	1/150, 1/500	

工事名称	防災行政用無線室古合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市			図面名称	図面目録
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	NO SCALE
摘 要				図面番号	A-01
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者	

1
一般
共通
事項
へ
続
き
▼

14発生材の処理等(1.3.12)

(1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。

	発生材の種類
発注者に引き渡すもの	
特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法	
現場において再利用を図るもの	

(2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理する。

(3) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(GOBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。
また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(GOBRIS)により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。

(4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆいくる材の認定を受けた施設又はゆいくる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。

(5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうち中から運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。

(6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について
ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、廃棄物という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。
「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。
http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/asufaruto.html
なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。
イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知)(平成24年3月28日付け技第1257号)」に基づき、適正に処理すること。
ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて(通知)(平成25年1月17日付け技第942号)」に基づき、適正に処理すること。

(7) 建設発生土の処分は次による。
※ 構外搬出適切処理
搬出先名称 ()
搬出先所在地 ()
運搬距離 (km)
搬出先基準(条件) ()
・ 構内堆積 ・ 構内敷きならし

15主任技術者・監理技術者

(1) 工事請負代金額が4,500万円以上(建築一式工事の場合9,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。
ア 現場施工に着手するまでの期間
【現場施工に着手する日が確定している場合】
請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任は要しない。
【現場施工に着手する日が確定していない場合】
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。
イ 検査終了後の期間
工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている契約工期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

16主任技術者・監理技術者・続き

17主任技術者等の資格

18主任技術者又は監理技術者の兼務

19工事の保険等

20ゆいくる材について

21石綿含有建材の事前調査(1.5.1)

22施工数量調査(1.6.2)

23技能士(1.7.2)

(2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について
ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より前に3ヵ月以上の雇用関係が成立していなければなら
ない。
イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料等の写し)を提出しなければならない。
(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。
・ 1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの
・ 1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの
ア 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
イ 配置予定技術者にあつては、入札開始日前に3ヵ月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係があること。
ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計図書等で確認すること。
(2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。
※ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を認める。この場合の要件は、現場説明書による。
・ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を認めない。
(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とす
【 ・ 火災保険 ② 建設工事保険 】
【 ② 組立保険 ② 請負業者賠償責任保険 】
(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。
(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。
ア 掛金収納書を契約後原則一ヶ月以内(電子申請方式による場合にあつては契約後原則40日以内)に発注者に提出する。
イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。
ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。
エ 工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。
(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいくる材に限り、原則「ゆいくる材」とする。それ以外を原材料とするゆいくる材は率先して使用することとする。ただし、ゆいくる材がない離島等での工事の場合は、ゆいくる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいくる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいくる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいくる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。
(2) ゆいくる材の品質管理
ア ゆいくる材の品質管理にあたっては、「標準仕様書」等のほかに「ゆいくる材品質管理要領」に基づいて行うこと。
イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいくる材を使用する場合、着手後に公益財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいくる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。
ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。
エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。

24化学物質の濃度測定(1.7.10)

25完成時の提出図書(1.9.1)(1.9.2)(1.9.3)

26設計図CADデータの貸与

27情報共有システム

28墜落制止用器具

29「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事

30建設キャリアアップシステム(CCUS)活用について

2
仮設
工事

1工事用水

2工事用電力

(1) 測定時期、測定対象室及び測定箇所数

測定対象室	測定箇所数	測定時期	備考

(2) 測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡しは受けない。
※完成図 ※保全に関する資料
(1) 本工事の完成時の提出図書は、「営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領(案)」による。
(2) 完成図は、(表1.7.1)に次表を含むものとする。

種類	記入内容
詳細図	監督員との協議による。

(3) 本工事は電子納品対象工事とする。
電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等(以下、「要領」)に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。
なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督員と協議するものとする。
(4) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか(公財)沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「電子納品確認登録証」の発行を受けること。
業務成果品(工事完成図書)は、電子媒体(CD-R等)で(正)1部提出すること。
「要領」で特に記載が無い項目については、監督員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定すること。
なお、「紙」による提出物は、監督員と協議の上決定すること。
(5) 受注者は、完成通知書の添付書類として以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。
ア ゆいくる材利用状況報告書
イ ゆいくる材出荷量証明書
(6) 建築物等の利用に関する説明書について
・「建築物等の利用に関する説明書」を作成する。作成の手引き(国土交通省ホームページに掲載)を参考にして、記載事項は監督員との協議により決定する。
(7) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示があった場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定
本工事で発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与する。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。
(1) 現場事務所等に、利用する情報共有システムが推奨するパソコンOS及びブラウザの環境を整えること。なお、現場条件等により当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。
情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。
(2) 受注者は、沖縄県CALSシステムの利用にあつては、沖縄県とCALS運営会社で定めた使用承諾料を沖縄県CALSシステムを運営している者に支払うこと。
(3) 沖縄県CALSシステムの使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること。(支払いの事実を証明する書類(銀行振り込みの写し等)を提出)
・ 墜落制止用器具は、フルハーネス型とする。ただし、墜落時に着用者が地面に到達するおそれのある場合は、胴ベルト型の使用を認めるものとする。また、墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)を遵守すること。
・ 本工事は、「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事の対象工事である。
実施については、「沖縄県「労務費見積り尊重宣言」促進モデル工事試行要領」及び「「労務費見積り尊重宣言」実施要領」(2018.12.21 日本建設業連合会)等を参照し実施するものとする。
・ 本工事は、建設キャリアアップシステム(以下「CCUS」という。)活用工事の試行対象であり、実施については、受注者における希望型とする。
受注者は、工事着手前までにCCUS活用について、実施の有無を工事打合簿にて発注者へ報告するものとする。
実施については、「沖縄県 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事試行要領」及び「建設キャリアアップシステム現場運用マニュアル」(一般財団法人建設業振興基金)等を参照し実施するものとする。

3環境対策について

4足場その他(2.2.1)(表2.2.1)

5既存部分の養生(2.3.1)

6仮設間仕切り(2.3.2)

7監督員事務所(2.4.1)

3
防水
改修
工事

1改修工法の種類、種別及び工程等(3.1.4)(表3.1.1)(表3.1.2)(3.2.5)(3.2.6)(3.3.2)(3.3.3)(表3.3.3)～(表3.3.10)(表3.3.1)～(表3.5.3)(3.6.3)(3.7.2)(3.7.8)

2とい(3.8.2)(3.8.3)(表3.8.1)

3アルミニウム製笠木(3.9.2)(表3.9.1)(3.9.3)

4保証

5その他

(1) 受注者は、本工事の施工にあたり、「沖縄県赤土等流出防止条例」、「水質汚濁防止法」及びその他環境保全に関する法令等を遵守し、その対策については工事着手前に現場状況の調査、検討を十分に行い、監督員の確認を得た上で施工すること。
(2) 赤土等流出防止対策を行う場合、その対策範囲は図示による。
(1) 内部足場【 ・ 脚立、足場板等 ・ 】
(2) 外部足場【 ・ 枠組足場 ・ くさび緊結足場 ・ 単管本足場 ・ 仮設ゴンドラ ・ 移動式足場 ・ 】
(3) 防護シート 【 ・ 設置する ・ 設置しない ・ 】
(4) 材料等の運搬方法: ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
・ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

備品等	養生方法、保管場所等

(1) 仮設間仕切り

設置箇所	種別	片面への塗装等の仕上げ	備考(厚さ等)
		・ 有り ・ 無し	
		・ 有り ・ 無し	

(2) 仮設扉

設置箇所	種別	備考

規模(m ²)	
床	
仕上げ	内壁・天井
	屋根
備品の種類及び数量	

(1) 防水改修工法の種類等

工法の種類	施工箇所	材料の種類及び厚さ	備考

(2) シーリング改修工法の種類等

工法の種類	施工箇所	試験等
		※簡易接着性試験

(3) 既存下地の補修箇所の形状、長さ等は、図示による。(イ)
(4) 改修用ドレンを設ける場合: 【 】
(5) 防水層の種類: 【 】
(6) その他の材料等
・ 固定金具 : 材質() 寸法()
・ 絶縁用シート : 材料()
・ 断熱材 : 材質() 厚さ()
・ 立上り部保護 : 材料() 工法等()
・ 脱気装置 : 種類() 設置数()
・ 仕上げ塗料 : 種類() 使用量()
・ 平場の保護コンクリート、保護モルタル 厚さ等()
(1) といの材料等

材種	規格名称	材質	備考

(2) たてどい受金物の取付けは、図示による。
(1) 構成部材による種類:
(2) アルミニウム製笠木本体の材料の表面処理の種別及び複合皮膜の種類は次による。
種別: 【 ・ A-1 ・ B-1 】
種別をB-1とした場合の複合皮膜の種【 ・ A1 ・ A2】(JIS H 8602)
(3) 既存笠木撤去後の新規アルミニウム製笠木の地下補修の工法:押出し 形
(4) 固定金具の間隔及び固定方法は、図示による。
(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する
(2) 保証期間は、工事完成 【 】年間とする。
アスファルト防水は【 】年間とする。
既設資材の処理及び処分方法:

工事名称	防風行政用無縁宮古合庁庁舎中継局鉄塔等改修工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	宮古島市	図面名称	建築改修工事特記仕様書(その2)
発注機関	沖縄県企画部情報基盤整備課	縮 尺	
摘 要			
検 印	管理建築士	設 計	製 図
			名 称
			資格者氏名
			登録番号
			所 在 地

8耐震改修工事

1既存部分の撤去等

(1) 既存構造体の撤去範囲及びはつりだした鉄筋及び鉄骨の処置は、図示による。(8.21.2)(8.22.2)(8.23.2)(8.25.2)(8.24.4)(8.26.5)(8.27.2)

(2) 既存部分の目荒らしの程度：
(8.21.3)(8.22.3)(8.23.3)

(3) 既存部の取り合い部分の割裂補強筋の仕様：
(8.21.6)(8.22.7)(8.26.10)(8.27.6)

2材料及び品質

(8.2.1)

(8.3.4)(8.4.2)

(表8.3.4)

(8.4.2)(8.4.3)

(8.3.8)

(8.2.2)

(8.2.4)

(8.12.4)

(8.1.3)(8.9.1)

(表8.1.1)

(表8.9.1)

(8.1.4)(表8.1.4)

(8.7.8)

(8.21.8)

(8.2.8)(表8.2.7)

(8.17.4)

(8.18.2)(8.18.3)

(8.2.14)

(8.2.9)(8.13.2)

(8.14.2)

(1) 鉄筋

ア 鉄筋の種類等

種類の記号	呼び名(mm)	備考

イ 鉄筋の継手

施工部位	継手の種類	備考(重ね継手の長さ等)

ウ 鉄筋の定着長さ

【※図示による(A-) ・ 】

エ 帯筋組立の形

施工箇所	配筋の方法	その他特記すべき事項
	・ (参-)による。 ・ 図示	

オ 柱、梁の主筋の継手を同一箇所に入れる場合は、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。

カ 機械式継手、溶接継手の場合のあきの寸法：

キ 圧接部の超音波探傷試験：【 ・ 行う ・ 行わない】

ク 機械式継手の種類： ・ 図示 ・

(2) 溶接金網

網目の形状	寸法	鉄線の経	備考

(3) あと施工アンカー

ア あと施工アンカーの材料

種類	引張耐力	せん断耐力	径・埋込み深さ	アンカー及び接合筋	確認強度
金属系					
接着系					

イ アンカー筋の新設壁内への定着長さ：【 ・ 実施する ・ 実施しない 】

ウ あと施工アンカーの性能確認試験：

【 ・ 実施する ・ 実施しない 】

エ 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。

(4) コンクリート

ア コンクリートの種類等

気乾単位容積質量による種	類別等	設計基準強度(Fc)	施工部位
・ 普通コンクリート	※Ⅰ類		
・ 軽量コンクリート	・Ⅱ類		
・ 普通コンクリート	※Ⅰ類		
・ 軽量コンクリート	・Ⅱ類		
・ 普通コンクリート	※Ⅰ類		
・ 軽量コンクリート	・Ⅱ類		

イ 材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。

ウ セメントの種類：

※普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・

エ フライアッシュセメントB種の適用箇所 ・ 図示 ・

オ 骨材のアルカリシリカ反応性による区分※A ・ B

カ コンクリート打放し仕上りの種類等

仕上りの種別	打増し厚さ	施工部位	備考

キ 軽量コンクリート

施工部位	種類	気乾単位容積質量
	・ 1種 ・ 2種	

ク 水又は土に接する軽量コンクリートの使用 ・ 有り【使用箇所： ・ 図示 ・ 】

ケ コンクリートの打込み工法：【 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法】

(5) 鋼材

ア 鋼材の種類等

記号の種類	適用箇所	備考
		形状及び寸法は、図示による。

イ 錆止め塗料の種類：【 ・ A種 ・ B種 】

ウ 耐火被覆の種類及び性能

種類	所要性能及び摘要箇所

エ 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験：

(6) 高力ボルト

ア 高力ボルトの種類等

種類	径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考

すべり係数試験： 【 ・ 実施する ・ 実施しない 】

試験の方法、試験片の摩擦面の処理 ・ 図示 ・

3現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事

(8.21.8)(8.21.10)

(8.3.7)

4鉄骨ブレース設置工事

(8.13.10)(8.22.9)

5柱補強工事

(8.23.5)(8.23.6)

(8.23.7)(8.24.7)

6耐震スリット新設工事

(8.25.2)

7免震・制震改修工事

(8.26.7)(8.26.10)

(8.26.13)(8.27.4)

(8.27.6)(8.27.8)

(8.26.7)(8.27.4)

(8.26.16)(8.27.9)

(8.26.15)

8既存杭の撤去等

(8.28.2)

9その他

(7) 溶接

ア 技能資格者の技能付加試験【 ・ 行う ・ 行わない】

イ 開先の形状等

開先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカラップの形状	溶接部の試験

ウ 錆止め塗料の種類：【 ・ A種 ・ B種 】

エ 耐火被覆の種類及び性能

種類	所要性能及び摘要箇所

オ 溶融亜鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理：

【 ・ プラスト処理 ・ フラット以外の特別な処理方法及びヘラ削り等の確認方法： 】

(8) モルタル及びグラウト材

ア モルタルの圧縮強度及びフロー値：

(9) 連続繊維補強材

材料	工法	引張り強度	ヤング係数	備考

ア 強度試験の実施：

【 ・ 引張強度試験 ・ 付着強度試験 (試験数量：)】

(1) コンクリートの打込み及び仕上げ

打込み工法の種類 増設工事後の仕上げ 備考

--	--	--

(2) 壁の配筋及び開口部の補強は、図示による。

(1) 仮組： 【 ・ 実施する ・ 実施しない 】

(2) ブレース設置後の仕上げは、図示による。

工法	補強後の仕上げ	その他(打込み工法、面取りの大きさ等)

スリット	耐火材	遮音材			
幅	深さ	使用箇所	仕様	使用箇所	仕様

(1) 支承材又は減衰材

材質	諸元	防錆処置	寸法許容差	設置後の仕上げ

(2) 性能確認試験の項目及び数量：【

(3) 製品検査

項目	内容	判定基準	検査頻度等

(4) 支承材の耐火被覆の適用：【 ・ 有り(仕様： ・ なし) ・

(5) 検査の項目及び数量：【

(6) エキスパンションジョイントの仕様及び工法は、図示による。

(1) 撤去範囲及び撤去方法：図示による。

既設資材の処理及び処分方法：

10その他

1県産瓦葺

2鉄骨部材取替

5外断熱改修工事

(9.2.2)

(9.2.3)(9.2.4)

6断熱・防露改修工事

7屋上緑化改修工事

(9.4.2)(9.4.3)

8透水性アスファルト舗装改修工事

(9.5.3)

(9.5.4)(9.5.5)

(9.5.9)

断熱材	外装材	備考		
種類	厚さ	種類	防火性能	

既存外壁仕上材撤去	下地面清掃	下地欠損部改修方法	通気層の有無・厚さ

工法	断熱材の種類	厚さ

芝等の種類	見切り材等	かん水装置	既存保護層等の撤去

※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。

(1) 既存舗装の撤去：

(2) 路床

盛土の材料	フィルター層材料・厚さ	路床安定処理	実施する試験

(3) ジオテキスタイルの適用及び品質：

(4) 路盤、舗装

路盤の厚さ	舗装の厚さ	開粒度アスファルト混合物抽出試験	備考

(5) 構成及び厚さ：【 ・ 図示による(A-) ・ 】

(1) 瓦は沖縄県産の赤瓦とする。

(2) 沖縄県技能評価認定制度に基づく琉球赤瓦施工技能評価試験の瓦葺き作業及び漆喰塗り作業に合格した者を、適用する作業中において次の条件で配置し自ら施工すると共に、他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。

【 ・ 1名以上配置 ・ 施工面積 m²につき、 級技能評価試験に合格した者を1名配置 】

(1) 鋼材

記号の種類	適用箇所	備考
		形状及び寸法は図示による

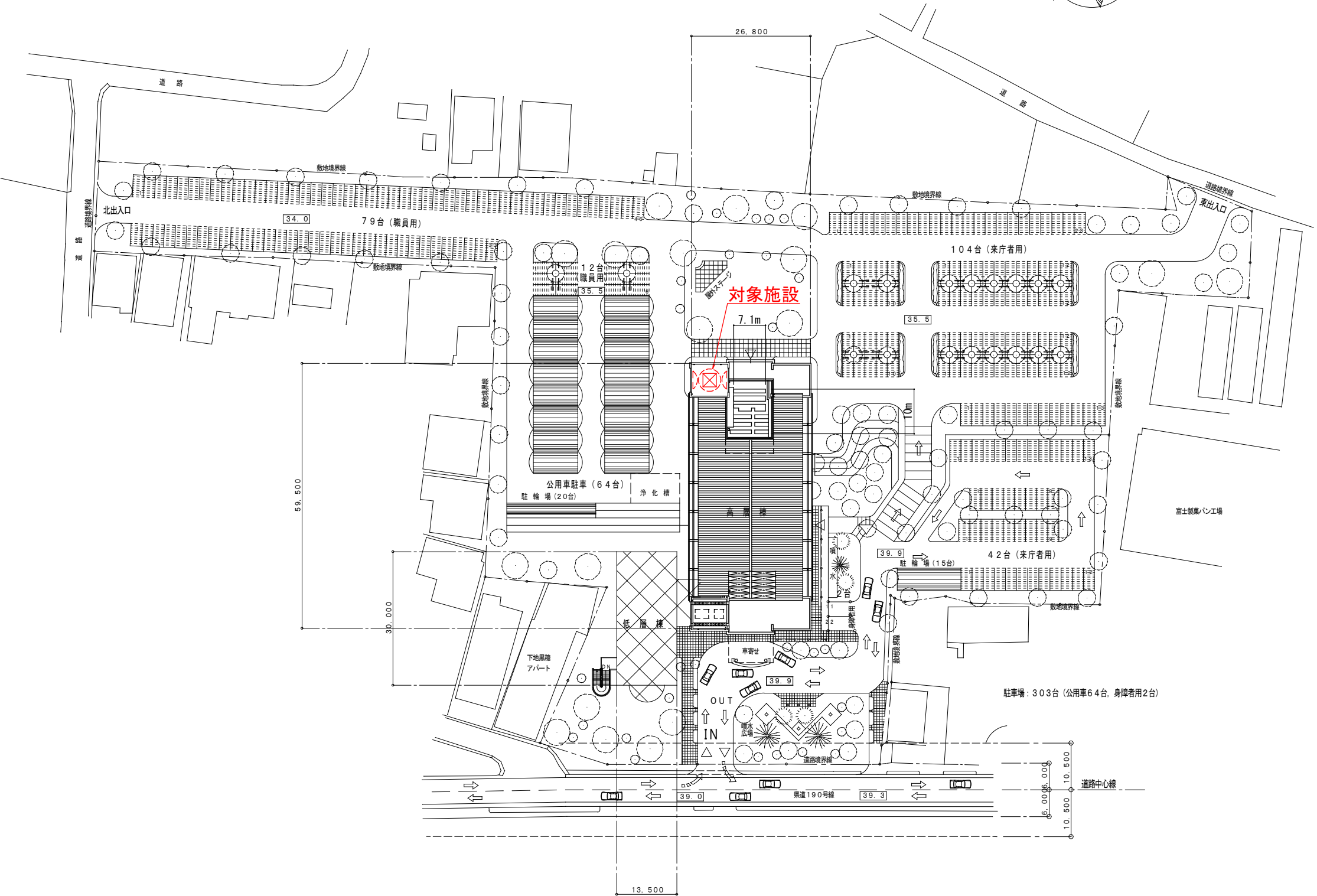
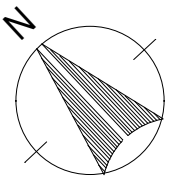
(2) 普通ボルト

径	縁端距離	間隔	ゲージ	備考
				形状及び寸法は図示による

(3) 塗料の種類

錆止め塗料の種類：【 A種 ・ B種 】

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔等改修工事	工事年度	令和 8 年度
工事場所	宮古島市	図面名称	建築改修工事特記仕様書(その4)
発注機関	沖縄県企画部情報基盤整備課	縮 尺	
摘 要		図面番号	A-05
検 印	管理建築士	設 計	製 図
			設計者
			資格者氏名
			登録番号
			所在地



工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市			図面名称	案内図・敷地平面図
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮尺	1/500
摘要				図面番号	A-06
検印	照	査	設	計	施 工 者

14,000

2,400

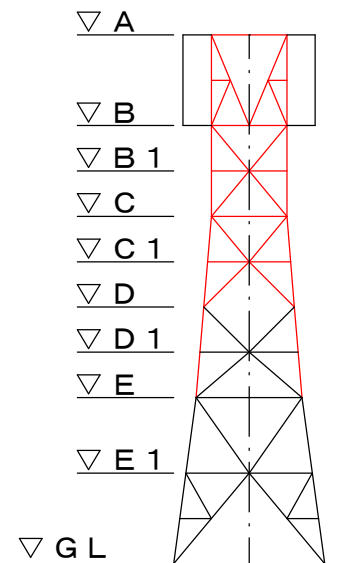
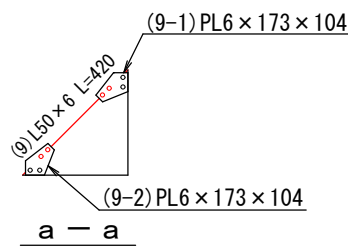
2,400

2,400

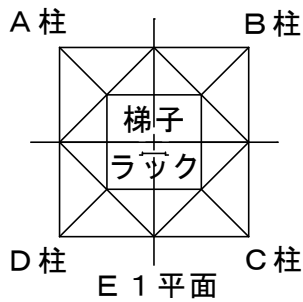
3,500

2,000

(1) 避雷針 (LR-1)
Φ 89.1 × 4.2 L=3,000



姿図



注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50 x 6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。
ボルト記号
× M12 皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12 ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16 ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20 ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24 ボルト JIS N. SW付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

斜材：B柱～A柱

N. o.	位置	部材	長さ (mm) 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
主(1)	A～C	L100×7	4,800 mm	1	O	M20×50	1 1	O
主(2)	"	L100×7	4,800 mm	1	O	M20×50	1 1	O
主(3)	C～E	HL130×12	4,800 mm	1	O	M20×50	1 1	O
主(4)	"	HL130×12	4,800 mm	1	O	M20×50	1 1	O
1	避雷針 (LR-1)	Φ 89.1 × 4.2	3,000 mm	1	O	Uボルト (Φ 89.1 用)	2	O
2	A	L65×6	2,390 mm	1	O			
3	A～B	L65×6	2,250 mm	1	1	M16×40 M20×50	3 4	3 4
3-1	"	PL9×138×277	0.0382 ㎡	1	O			
3-2	"	PL6×138×207	0.0286 ㎡	1	O			
3-3	"	PL6×173×173	0.0299 ㎡	1	O			
4	"	L65×6	2,250 mm	1	1	M16×40 M20×50	3 4	3 4
4-1	"	PL9×138×277	0.0382 ㎡	1	O			
4-2	"	PL6×138×207	0.0286 ㎡	1	O			
5	"	L50×6	375 mm	1	1	M16×40	6	6
5	"	PL9×86×138	0.0119 ㎡	1	O			
6	"	L50×6	375 mm	1	1	M16×40	6	6
6	"	PL9×86×138	0.0119 ㎡	1	O			
7	"	L50×6	1,010 mm	1	1	M16×40	4	4
7	"	PL9×450×173	0.0779 ㎡	1	O			
8	"	L50×6	1,010 mm	1	O	M16×40	4	4
8	"	PL9×450×173	0.0779 ㎡	1	O			
9	"	L50×6	420 mm	4	4	M16×40	1 6	1 6
9-1	"	PL6×173×104	0.0180 ㎡	4	O	M16×40	8	O
9-2	"	PL6×173×104	0.0180 ㎡	4	O	M16×40	8	O
10	B	L65×6	2,390 mm	1	O			
11	B～B-1	L75×6	1,330 mm	1	1	M20×50	6	6
11	"	PL6×312×277	0.0864 ㎡	1	O	M16×40	6	O
12	"	L75×6	1,330 mm	1	1	M20×50	6	6
13	B-1	L50×6	1,795 mm	1	O			
13-1	"	PL9×104×138	0.0144 ㎡	1	O	M16×40	2	O
13-2	"	PL9×104×138	0.0144 ㎡	1	O	M16×40	2	O
14	B-1～C	L75×6	1,297 mm	1	1	M20×50	6	6
14	"	PL9×415×173	0.0718 ㎡	1	O			
15	"	L75×6	1,297 mm	1	1	M20×50	6	6
15	"	PL9×415×173	0.0718 ㎡	1	O			
16	C	ポストジョイント	※ボルトのみ交換			M20×90	6	6
17	"	ポストジョイント				M20×90	6	O
18	"	L65×6	1,705 mm	1	O			
19	C～C-1	L75×6	1,190 mm	1	1	M20×50	6	6
19	"	PL6×346×312	0.1080 ㎡	1	O	M16×40	6	O
20	"	L75×6	1,190 mm	1	1	M20×50	6	6
21	C-1	L50×6	1,850 mm	1	O			
21-1	"	PL9×104×138	0.0144 ㎡	1	O	M16×40	2	O
21-2	"	PL9×104×138	0.0144 ㎡	1	O	M16×40	2	O
22	C-1～D	L75×6	1,400 mm	1	1	M20×50	6	6
22	"	PL9×485×242	0.1174 ㎡	1	O			
23	"	L75×6	1,400 mm	1	1	M20×50	6	6
23	"	PL9×485×242	0.1174 ㎡	1	O			

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	鉄塔構造図(1) B柱/A柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-07
検 印	照 査 設 計 製 図 施 工 者		

14,000

2,400

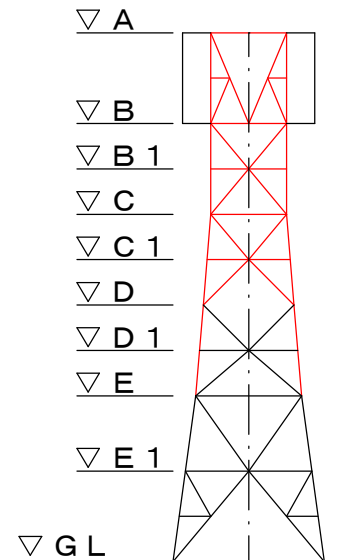
2,400

2,400

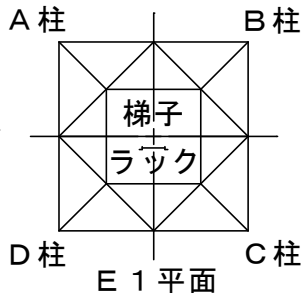
3,500

2,000

避雷針(LR-1)
76.3φ-5,000



姿図



斜材：C柱～B柱

N o .	位 置	部 材	長 さ (mm)	個 数	取 替	ボルト	個 数	取 替
主 (1)	A ～ C	L100 × 7	4,800 mm	1	○	M20 × 50	1 1	○
主 (2)	"	L100 × 7	4,800 mm	1	○	M20 × 50	1 1	○
主 (3)	C ～ E	HL130 × 12	4,800 mm	1	○	M20 × 50	1 1	○
主 (4)	"	HL130 × 12	4,800 mm	1	○	M20 × 50	1 1	○
1	A	L65 × 6	2,390 mm	1	○			
2	A ～ B	L65 × 6	2,250 mm	1	1	M16 × 40 M20 × 50	3 4	3 4
2-1	"	PL9 × 138 × 277	0.0382 m ²	1	○			
2-2	"	PL6 × 138 × 207	0.0286 m ²	1	○			
2-3	"	PL6 × 173 × 173	0.0299 m ²	1	○			
3	"	L65 × 6	2,250 mm	1	1	M16 × 40 M20 × 50	3 4	3 4
3-1	"	PL9 × 138 × 277	0.0382 m ²	1	○			
3-2	"	PL6 × 138 × 207	0.0286 m ²	1	○			
4	"	L50 × 6	375 mm	1	1	M16 × 40	6	6
4	"	PL9 × 86 × 138	0.0119 m ²	1	○			
5	"	L50 × 6	375 mm	1	1	M16 × 40	6	6
5	"	PL9 × 86 × 138	0.0119 m ²	1	○			
6	"	L50 × 6	1,010 mm	1	1	M16 × 40	4	4
6	"	PL9 × 450 × 173	0.0779 m ²	1	○			
7	"	L50 × 6	1,010 mm	1	○	M16 × 40	4	4
7	"	PL9 × 450 × 173	0.0779 m ²	1	○			
8	B	L65 × 6	2,390 mm	1	○			
9	B ～ B-1	L75 × 6	1,330 mm	1	1	M20 × 50	6	6
9	"	PL6 × 312 × 277	0.0864 m ²	1	○	M16 × 40	6	○
10	"	L75 × 6	1,330 mm	1	1	M20 × 50	6	6
11	B-1	L50 × 6	1,795 mm	1	○			
11-1	"	PL9 × 104 × 138	0.0144 m ²	1	○	M16 × 40	2	○
11-2	"	PL9 × 104 × 138	0.0144 m ²	1	○	M16 × 40	2	○
12	B-1 ～ C	L75 × 6	1,297 mm	1	1	M20 × 50	6	6
12	"	PL9 × 415 × 173	0.0718 m ²	1	○			
13	"	L75 × 6	1,297 mm	1	1	M20 × 50	6	6
13	"	PL9 × 415 × 173	0.0718 m ²	1	○			
14	C	ポストジョイント				M20 × 90	6	○
15	"	ポストジョイント	※ボルトのみ交換			M20 × 90	6	6
16	"	L65 × 6	1,705 mm	1	○			
17	C ～ C-1	L75 × 6	1,190 mm	1	1	M20 × 50	6	6
17	"	PL6 × 346 × 312	0.1080 m ²	1	○	M16 × 40	6	○
18	"	L75 × 6	1,190 mm	1	1	M20 × 50	6	6
19	C-1	L50 × 6	1,850 mm	1	○			
19-1	"	PL9 × 104 × 138	0.0144 m ²	1	○	M16 × 40	2	○
19-2	"	PL9 × 104 × 138	0.0144 m ²	1	○	M16 × 40	2	○
20	C-1 ～ D	L75 × 6	1,400 mm	1	1	M20 × 50	6	6
20	"	PL9 × 485 × 242	0.1174 m ²	1	○			
21	"	L75 × 6	1,400 mm	1	1	M20 × 50	6	6
21	"	PL9 × 485 × 242	0.1174 m ²	1	○			

注 記

- 1) 指示なきプレートは PL6 とする。
- 2) 指示なきアングルは L50 × 6 とする。
- 3) 指示なきゲージは F/2 とする。
- 4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
- 5) HLは SS540 の山形鋼を示す。

ボルト記号
× M12皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N. SW付 (SS490)
- 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は - で示す。

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	鉄塔構造図(2) C柱/B柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-08
検 印	照 査 設 計 製 図	施 工 者	

14,000

2,400

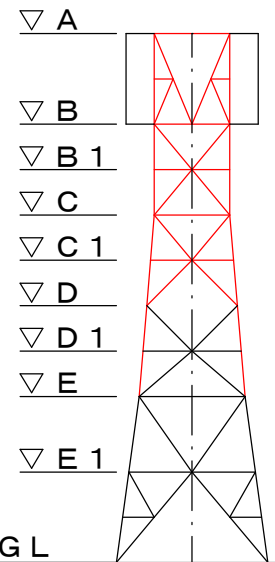
2,400

2,400

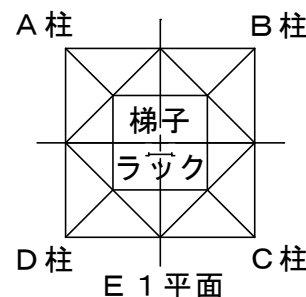
3,500

2,000

避雷針 (LR-1)
76.3φ-5,000



姿図



注 記

1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。

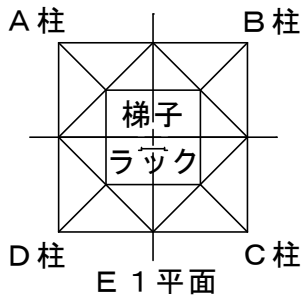
ボルト記号

× M12皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N. SW付 (SS490)

— 鋼材により隠れてしまう等、確認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

斜材：D柱～C柱								
N o .	位 置	部 材	長 さ (mm) 面 積 (㎡)	個 数	取 替	ボ ル ト	個 数	取 替
主 (1)	A～C	L100×7	4,800 mm	1	O	M20×50	1 1	O
主 (2)	"	L100×7	4,800 mm	1	O	M20×50	1 1	O
主 (3)	C～E	HL130×12	4,800 mm	1	O	M20×50	1 1	O
主 (4)	"	HL130×12	4,800 mm	1	O	M20×50	1 1	O
1	A	L65×6	2,390 mm	1	O			
2	A～B	L65×6	2,250 mm	1	1	M16×40 M20×50	3 4	3 4
2-1	"	PL9×138×277	0.0382 ㎡	1	O			
2-2	"	PL6×138×207	0.0286 ㎡	1	O			
2-3	"	PL6×173×173	0.0299 ㎡	1	O			
3	"	L65×6	2,250 mm	1	1	M16×40 M20×50	3 4	3 4
3-1	"	PL9×138×277	0.0382 ㎡	1	O			
3-2	"	PL6×138×207	0.0286 ㎡	1	O			
4	"	L50×6	375 mm	1	1	M16×40	6	6
4	"	PL9×86×138	0.0119 ㎡	1	O			
5	"	L50×6	375 mm	1	1	M16×40	6	6
5	"	PL9×86×138	0.0119 ㎡	1	O			
6	"	L50×6	1,010 mm	1	O	M16×40	4	4
6	"	PL9×450×173	0.0779 ㎡	1	O			
7	"	L50×6	1,010 mm	1	1	M16×40	4	4
7	"	PL9×450×173	0.0779 ㎡	1	O			
8	B	L65×6	2,390 mm	1	O			
9	B～B-1	L75×6	1,330 mm	1	1	M20×50	6	6
9	"	PL6×312×277	0.0864 ㎡	1	O	M16×40	6	O
10	"	L75×6	1,330 mm	1	1	M20×50	6	6
11	B-1	L50×6	1,795 mm	1	O			
11-1	"	PL9×104×138	0.0144 ㎡	1	O	M16×40	2	O
11-2	"	PL9×104×138	0.0144 ㎡	1	O	M16×40	2	O
12	B-1～C	L75×6	1,297 mm	1	1	M20×50	6	6
12	"	PL9×415×173	0.0718 ㎡	1	O			
13	"	L75×6	1,297 mm	1	1	M20×50	6	6
13	"	PL9×415×173	0.0718 ㎡	1	O			
14	C	ポストジョイント				M20×90	6	O
15	"	ポストジョイント				M20×90	6	O
16	"	L65×6	1,705 mm	1	O			
17	C～C-1	L75×6	1,190 mm	1	1	M20×50	6	6
17	"	PL6×346×312	0.1080 ㎡	1	O	M16×40	6	O
18	"	L75×6	1,190 mm	1	1	M20×50	6	6
19	C-1	L50×6	1,850 mm	1	O			
19-1	"	PL9×104×138	0.0144 ㎡	1	O	M16×40	2	O
19-2	"	PL9×104×138	0.0144 ㎡	1	O	M16×40	2	O
20	C-1～D	L75×6	1,400 mm	1	1	M20×50	6	6
20	"	PL9×485×242	0.1174 ㎡	1	O			
21	"	L75×6	1,400 mm	1	1	M20×50	6	6
21	"	PL9×485×242	0.1174 ㎡	1	O			

工事名称		防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事		工事年度	令和8年度	
工事場所		宮古島市		図面名称	鉄塔構造図(3) D柱/C柱	
発注機関		沖縄県企画部 情報基盤整備課		縮 尺	1/20	
摘 要				図面番号	A-09	
検 印		照 査	設 計	製 図	施 工 者	



注 記

- 1) 指示なきプレートは PL6 とする。
- 2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
- 3) 指示なきゲージは F/2 とする。
- 4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
- 5) HLは SS540 の山形鋼とする。

ボルト記号

×	M12 山ボルト	JIS	N	SWf	(SS400)
●	M12 平ボルト	JIS	N	SWf	(SS400)
○	M16 平ボルト	JIS	N	SWf	(SS400)
◎	M20 平ボルト	JIS	N	SWf	(SS400)
⊗	M24 平ボルト	JIS	N	SWf	(SS400)

○ 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にはボルトが取り付けられている場合は「で」を示す。

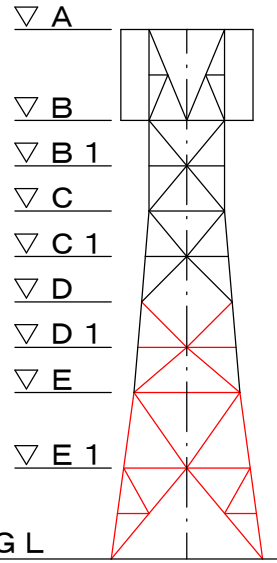
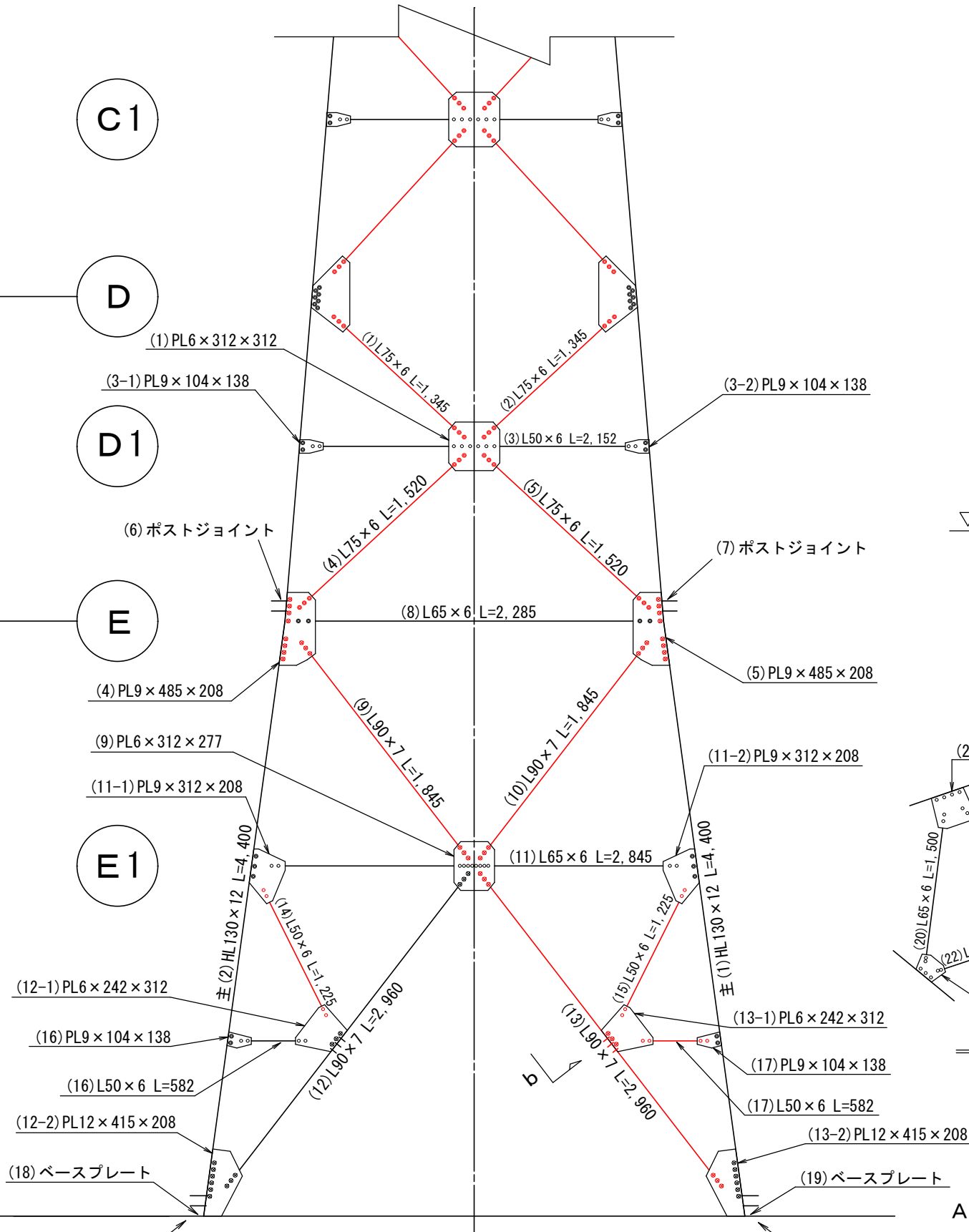
工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中絶局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度	
工事場所	宮古島市			図面名称	鉄塔構造図(4) A柱/D柱	
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	1/20	
摘 要				図面番号	A-10	
	照 査 設 計 製 図			施		
検 印				工 者		

14,000

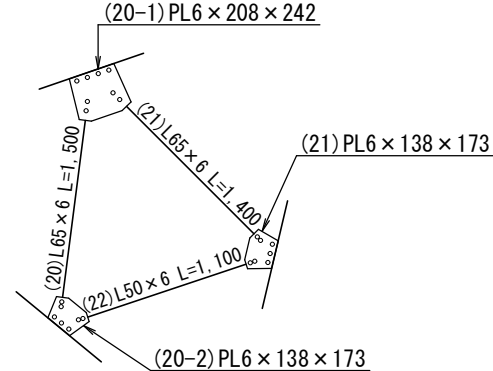
2,400

2,400

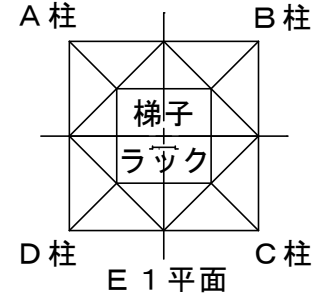
4,400



姿図



b矢視

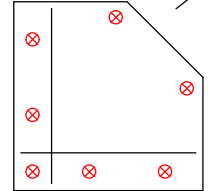


A柱

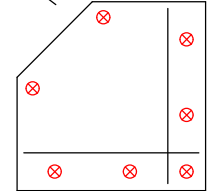
B柱

D柱

C柱



拡大図



拡大図

斜材：B柱～A柱									
N o .	位 置	部 材	長 寸 (mm)	個 数	取 替	ボルト	個 数	取 替	
主 (1)	E ~ G L	HL130 x 12	4,400 mm	1	0	M20 x 50 M24 x 60	5 6	0 0	
主 (2)	"	HL130 x 12	4,400 mm	1	0	M20 x 50 M24 x 60	5 6	0 0	
1	D ~ D - 1	L75 x 6	1,345 mm	1	1	M20 x 50	6	6	
1	"	PL6 x 312 x 312	0.0973 m ²	1	0	M16 x 40	6	0	
2	"	L75 x 6	1,345 mm	1	1	M20 x 50	6	6	
3	D - 1	L50 x 6	2,152 mm	1	0				
3-1	"	PL9 x 104 x 138	0.0144 m ²	1	0	M16 x 40	2	0	
3-2	"	PL9 x 104 x 138	0.0144 m ²	1	0	M16 x 40	2	0	
4	D - 1 ~ E	L75 x 6	1,520 mm	1	1	M20 x 50 M20 x 60	3 3	3 3	
4	"	PL9 x 485 x 208	0.1009 m ²	1	0	M20 x 50	2	0	
5	"	L75 x 6	1,520 mm	1	1	M20 x 50 M20 x 60	3 3	3 3	
5	"	PL9 x 485 x 208	0.1009 m ²	1	0	M20 x 50	2	0	
6	E	ポストジョイント	※ 材のみ交換			M24 x 90	8	8	
7	"	ポストジョイント	※ 材のみ交換			M24 x 90	8	8	
8	"	L65 x 6	2,285 mm	1	0				
9	E ~ E - 1	L90 x 7	1,845 mm	1	1	M24 x 60 M24 x 70	3 3	3 3	
9	"	PL6 x 312 x 277	0.0864 m ²	1	0	M16 x 40	8	0	
10	"	L90 x 7	1,845 mm	1	1	M24 x 60 M24 x 70	3 3	3 3	
11-1	E - 1	L65 x 6	2,845 mm	1	0				
11-2	"	PL9 x 312 x 208	0.0649 m ²	1	0	M16 x 40	2	0	
12	E - 1 ~ G L	L90 x 7	2,960 mm	1	0	M24 x 60	12	0	
12-1	"	PL6 x 242 x 312	0.0755 m ²	1	0				
12-2	"	PL12 x 415 x 208	0.0863 m ²	1	0				
13	"	L90 x 7	2,960 mm	1	1	M24 x 60	12	12	
13-1	"	PL6 x 242 x 312	0.0755 m ²	1	0				
13-2	"	PL12 x 415 x 208	0.0863 m ²	1	0				
14	"	L50 x 6	1,225 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
15	"	L50 x 6	1,225 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
16	"	L50 x 6	582 mm	1	0	M16 x 40	4	0	
16	"	PL9 x 104 x 138	0.0144 m ²	1	0				
17	"	L50 x 6	582 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
17	"	PL9 x 104 x 138	0.0144 m ²	1	0				
18	G L	ベースプレート	※ 材のみ交換			M24 x 90	7	7	
19	"	ベースプレート	※ 材のみ交換			M24 x 90	7	7	
20	E - 1 ~ G L	L65 x 6	1,500 mm	4	0	M16 x 40	4	0	
20-1	"	PL6 x 208 x 242	0.0503 m ²	4	0	M16 x 40	16	0	
20-2	"	PL6 x 138 x 173	0.0239 m ²	4	0	M16 x 40	12	0	
21	"	L65 x 6	1,400 mm	4	0	M16 x 40	16	0	
21	"	PL6 x 138 x 173	0.0239 m ²	4	0	M16 x 40	12	0	
22	"	L50 x 6	1,100 mm	4	0	M16 x 40	16	0	

注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアンクルは L50 x 6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。

ボルト記号
× M12皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N. SW付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	鉄塔構造図 (5) B柱/A柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-11
検 印	照 査 設 計 製 図 施 工 者		

14,000

2,400

2,400

4,400

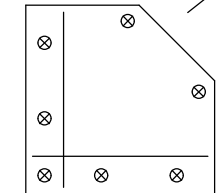
C1

D

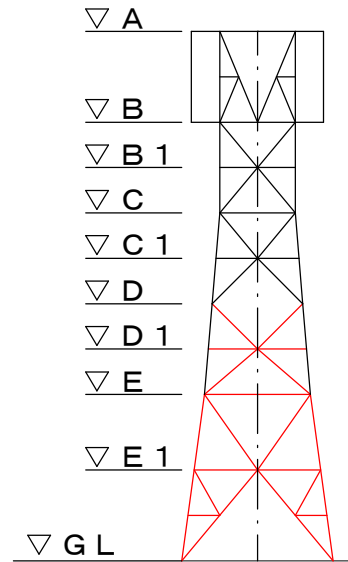
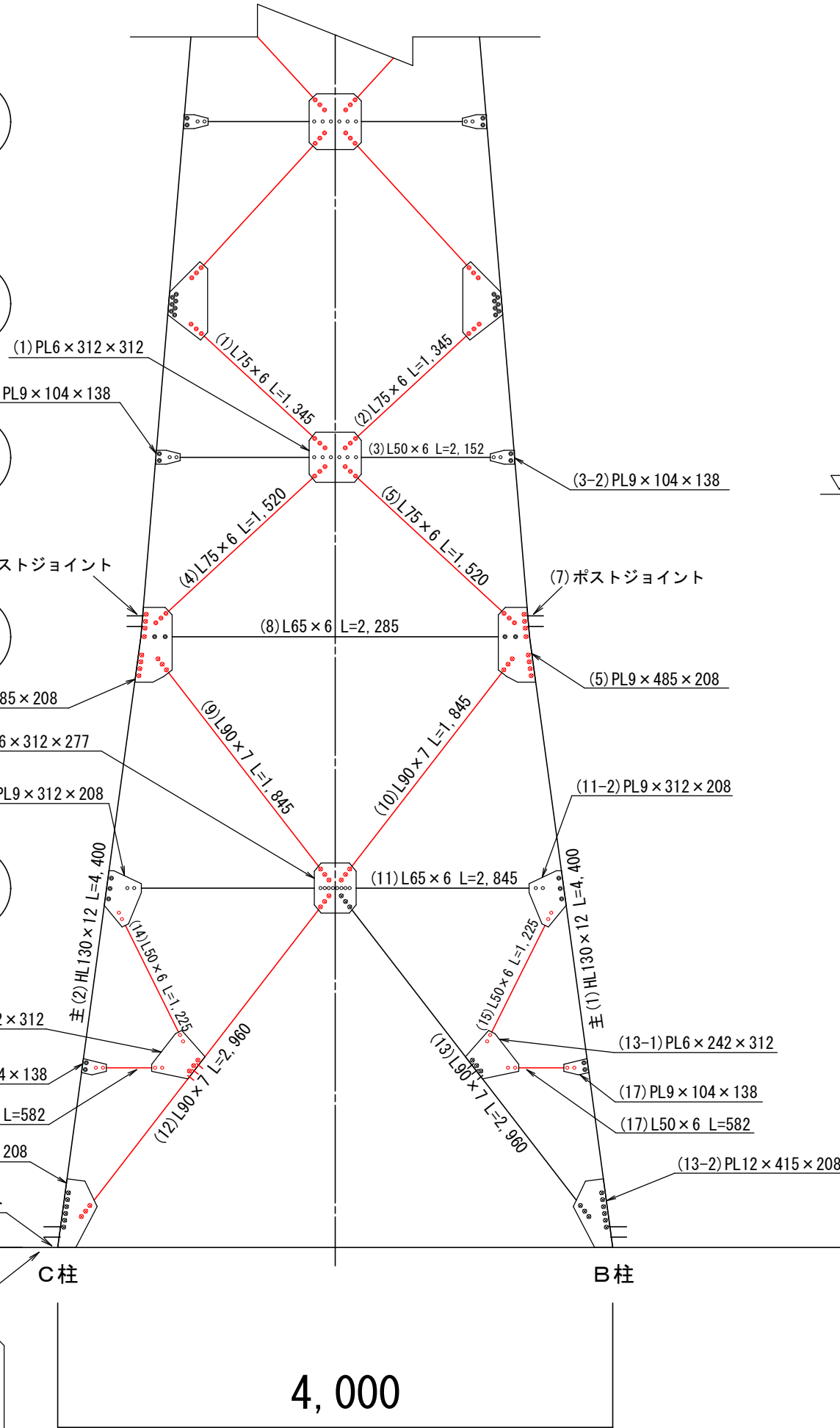
D1

E

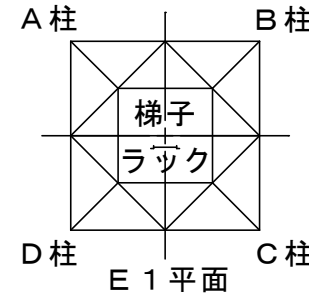
E1



拡大図



姿図



斜材：C柱～B柱

N o .	位 置	部 材	長 さ (mm)	個 数	取 替	ボルト	個 数	取 替
主 (1)	E～G L	HL 130×12	4,400 mm	1	0	M20×50 M24×60	5 6	0 0
主 (2)	"	HL 130×12	4,400 mm	1	0	M20×50 M24×60	5 6	0 0
1	D～D－1	L75×6	1,345 mm	1	1	M20×50	6	6
1	"	PL6×312×312	0.0973 m ²	1	0	M16×40	6	0
2	"	L75×6	1,345 mm	1	1	M20×50	6	6
3	D－1	L50×6	2,152 mm	1	0			
3-1	"	PL9×104×138	0.0144 m ²	1	0	M16×40	2	0
3-2	"	PL9×104×138	0.0144 m ²	1	0	M16×40	2	0
4	D－1～E	L75×6	1,520 mm	1	1	M20×50 M20×60	3 3	3 3
4	"	PL9×485×208	0.1009 m ²	1	0	M20×50	2	0
5	"	L75×6	1,520 mm	1	1	M20×50 M20×60	3 3	3 3
5	"	PL9×485×208	0.1009 m ²	1	0	M20×50	2	0
6	E	ポストジョイント	※ボルトのみ交換			M24×90	8	8
7	"	ポストジョイント	※ボルトのみ交換			M24×90	8	8
8	"	L65×6	2,285 mm	1	0			
9	E～E－1	L90×7	1,845 mm	1	1	M24×60 M24×70	3 3	3 3
9	"	PL6×312×277	0.0864 m ²	1	0	M16×40	8	0
10	"	L90×7	1,845 mm	1	1	M24×60 M24×70	3 3	3 3
11	E－1	L65×6	2,845 mm	1	0			
11-1	"	PL9×312×208	0.0649 m ²	1	0	M16×40	2	0
11-2	"	PL9×312×208	0.0649 m ²	1	0	M16×40	2	0
12	E－1～G L	L90×7	2,960 mm	1	1	M24×60	12	12
12-1	"	PL6×242×312	0.0755 m ²	1	0			
12-2	"	PL12×415×208	0.0863 m ²	1	0			
13	"	L90×7	2,960 mm	1	0	M24×60	12	0
13-1	"	PL6×242×312	0.0755 m ²	1	0			
13-2	"	PL12×415×208	0.0863 m ²	1	0			
14	"	L50×6	1,225 mm	1	1	M16×40	4	4
15	"	L50×6	1,225 mm	1	1	M16×40	4	4
16	"	L50×6	582 mm	1	1	M16×40	4	4
16	"	PL9×104×138	0.0144 m ²	1	0			
17	"	L50×6	582 mm	1	1	M16×40	4	4
17	"	PL9×104×138	0.0144 m ²	1	0			
18	G L	ベースプレート				M24×90	7	0

注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。

ボルト記号
× M12皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N. SW付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

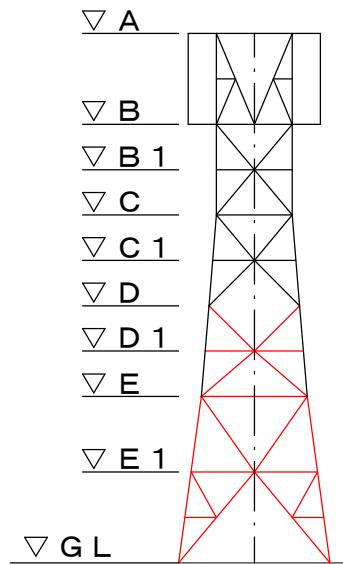
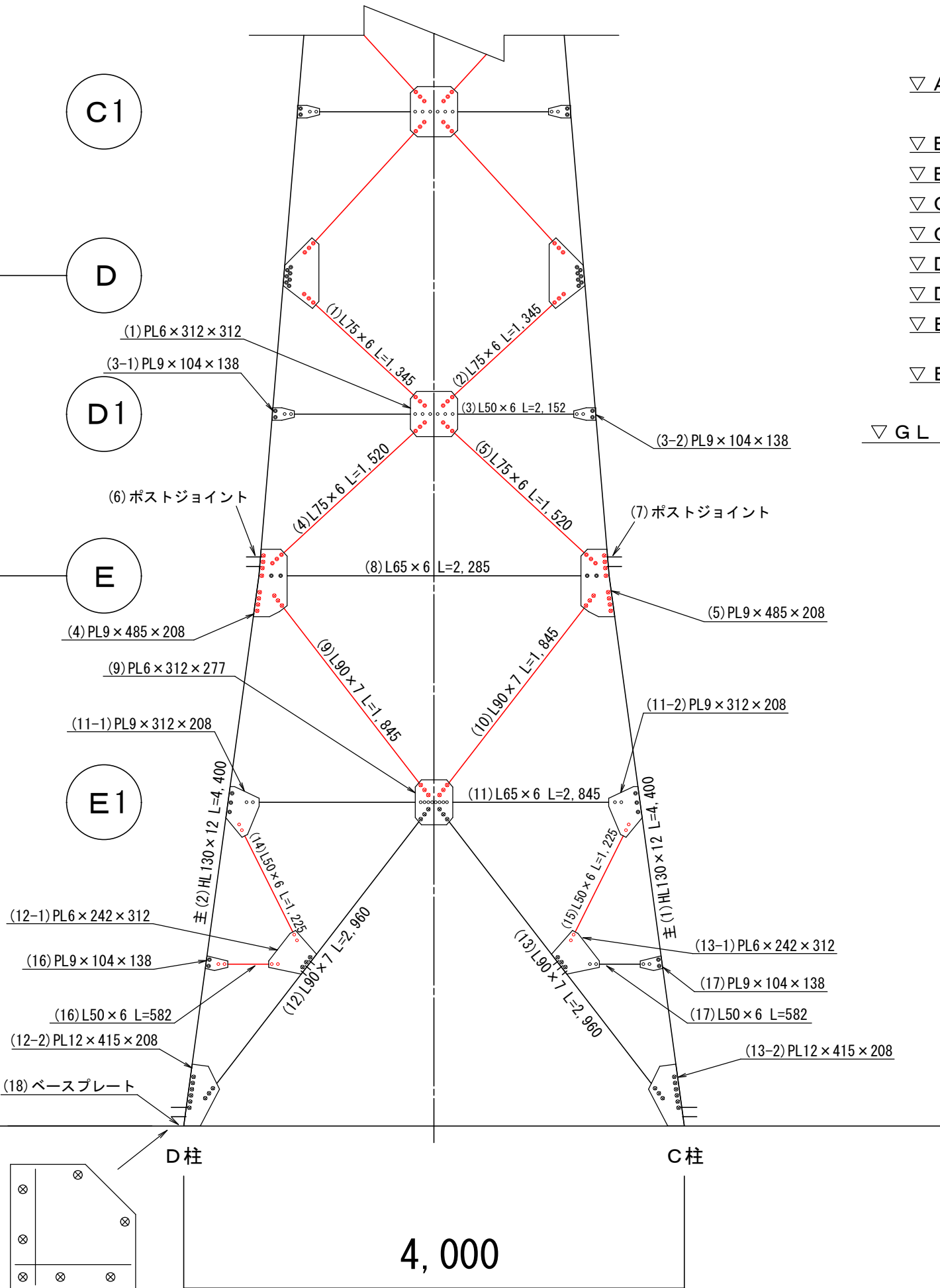
工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	鉄塔構造図 (6) C柱/B柱
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-12
検 印	照 査 設 計 製 図	施 工 者	

14,000

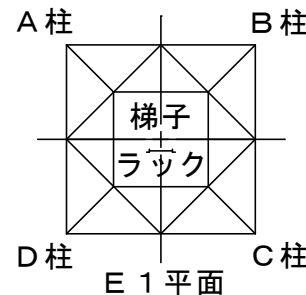
2,400

2,400

4,400



姿図

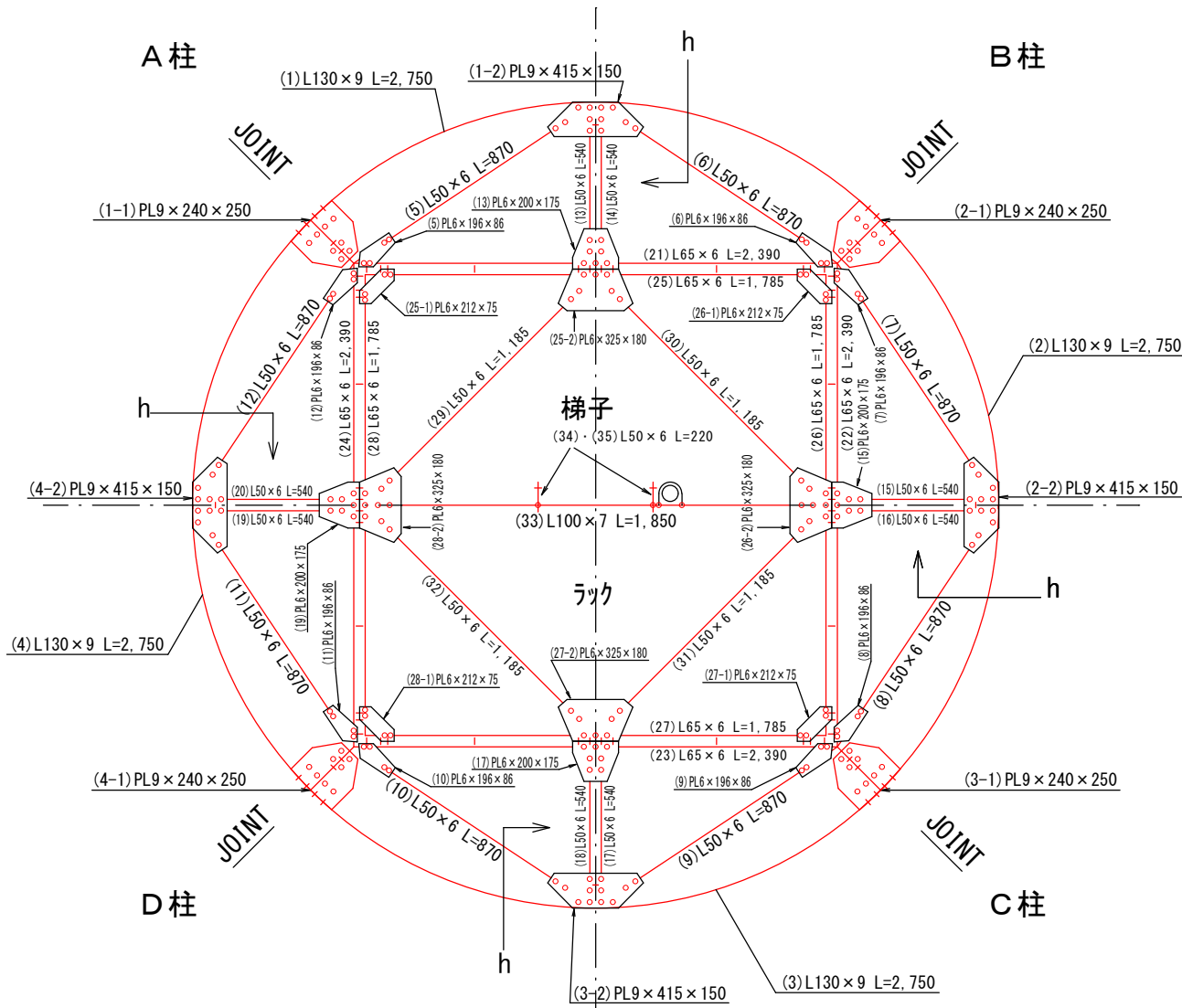


斜材：D柱～C柱

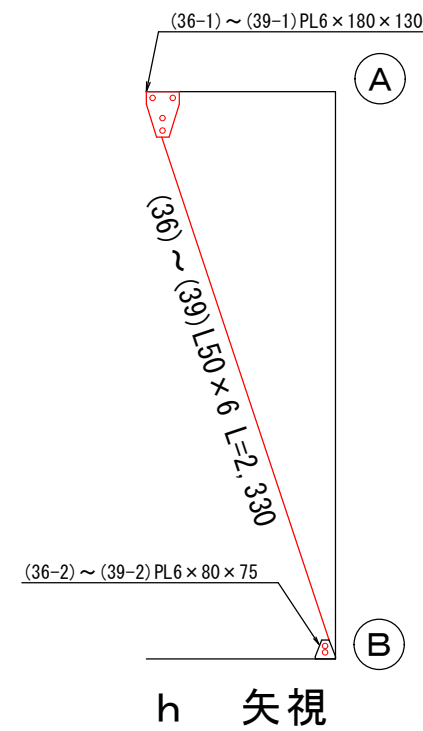
No.	位置	部材	長さ(mm) 面積(m ²)	個数	取替	ボルト	個数	取替
主(1)	E～G L	HL130×12	4,400 mm	1	O	M20×50 M24×60	5 6	O O
主(2)	"	HL130×12	4,400 mm	1	O	M20×50 M24×60	5 6	O O
1	D～D-1	L75×6	1,345 mm	1	1	M20×50	6	6
1	"	PL6×312×312	0.0973 m ²	1	O	M16×40	6	O
2	"	L75×6	1,345 mm	1	1	M20×50	6	6
3	D-1	L50×6	2,152 mm	1	O			
3-1	"	PL9×104×138	0.0144 m ²	1	O	M16×40	2	O
3-2	"	PL9×104×138	0.0144 m ²	1	O	M16×40	2	O
4	D-1～E	L75×6	1,520 mm	1	1	M20×50 M24×60	3 3	3 3
4	"	PL9×485×208	0.1009 m ²	1	O	M20×50	2	O
5	"	L75×6	1,520 mm	1	1	M20×50 M20×60	3 3	3 3
5	"	PL9×485×208	0.1009 m ²	1	O	M20×50	2	O
6	E	ポストジョイント	※* 1 跡のみ交換			M24×90	8	8
7	"	ポストジョイント	※* 1 跡のみ交換			M24×90	8	8
8	"	L65×6	2,285 mm	1	O			
9	E～E-1	L90×7	1,845 mm	1	1	M24×60 M24×70	3 3	3 3
9	"	PL6×312×277	0.0864 m ²	1	O	M16×40	8	O
10	"	L90×7	1,845 mm	1	1	M24×60 M24×70	3 3	3 3
11	E-1	L65×6	2,845 mm	1	O			
11-1	"	PL9×312×208	0.0649 m ²	1	O	M16×40	2	O
11-2	"	PL9×312×208	0.0649 m ²	1	O	M16×40	2	O
12	E-1～G L	L90×7	2,960 mm	1	O	M24×60	12	O
12-1	"	PL6×242×312	0.0755 m ²	1	O			
12-2	"	PL12×415×208	0.0863 m ²	1	O			
13	"	L90×7	2,960 mm	1	O	M24×60	12	O
13-1	"	PL6×242×312	0.0755 m ²	1	O			
13-2	"	PL12×415×208	0.0863 m ²	1	O			
14	"	L50×6	1,225 mm	1	1	M16×40	4	4
15	"	L50×6	1,225 mm	1	1	M16×40	4	4
16	"	L50×6	582 mm	1	1	M16×40	4	4
16	"	PL9×104×138	0.0144 m ²	1	O			
17	"	L50×6	582 mm	1	O	M16×40	4	O
17	"	PL9×104×138	0.0144 m ²	1	O			
18	G L	ベースプレート				M24×90	7	O

- ・ 注 記
- 1) 指示なきプレートは PL6 とする。
 - 2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
 - 3) 指示なきゲージは F/2 とする。
 - 4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
 - 5) HLは SS540 の山形鋼を示す。
- ボルト記号
- × M12皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
 - M12ボルト JIS N. SW付 (SS400)
 - M16ボルト JIS N. SW付 (SS400)
 - ◎ M20ボルト JIS N. SW付 (SS490)
 - ⊗ M24ボルト JIS N. SW付 (SS490)
- 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事		工事年度	令和8年度	
工事場所	宮古島市		図面名称	鉄塔構造図(7) D柱/C柱	
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課		縮 尺	1/20	
摘 要	照 査 設 計 製 図		図面番号	A-13	
検 印			施 工 者		



A 平面

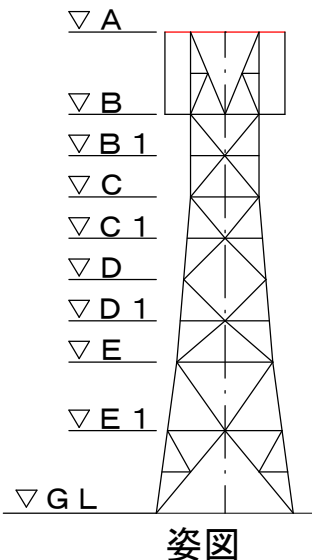


※1 赤色のボルトはM20×50、青色はM16×40とする。
※2 内のボルトは隣接する鋼材を接続するものであり、
数量の重複を防ぐため、(21) (23) にのみ計上している。

(21) ~ (24) ボルト配置詳細図

注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。

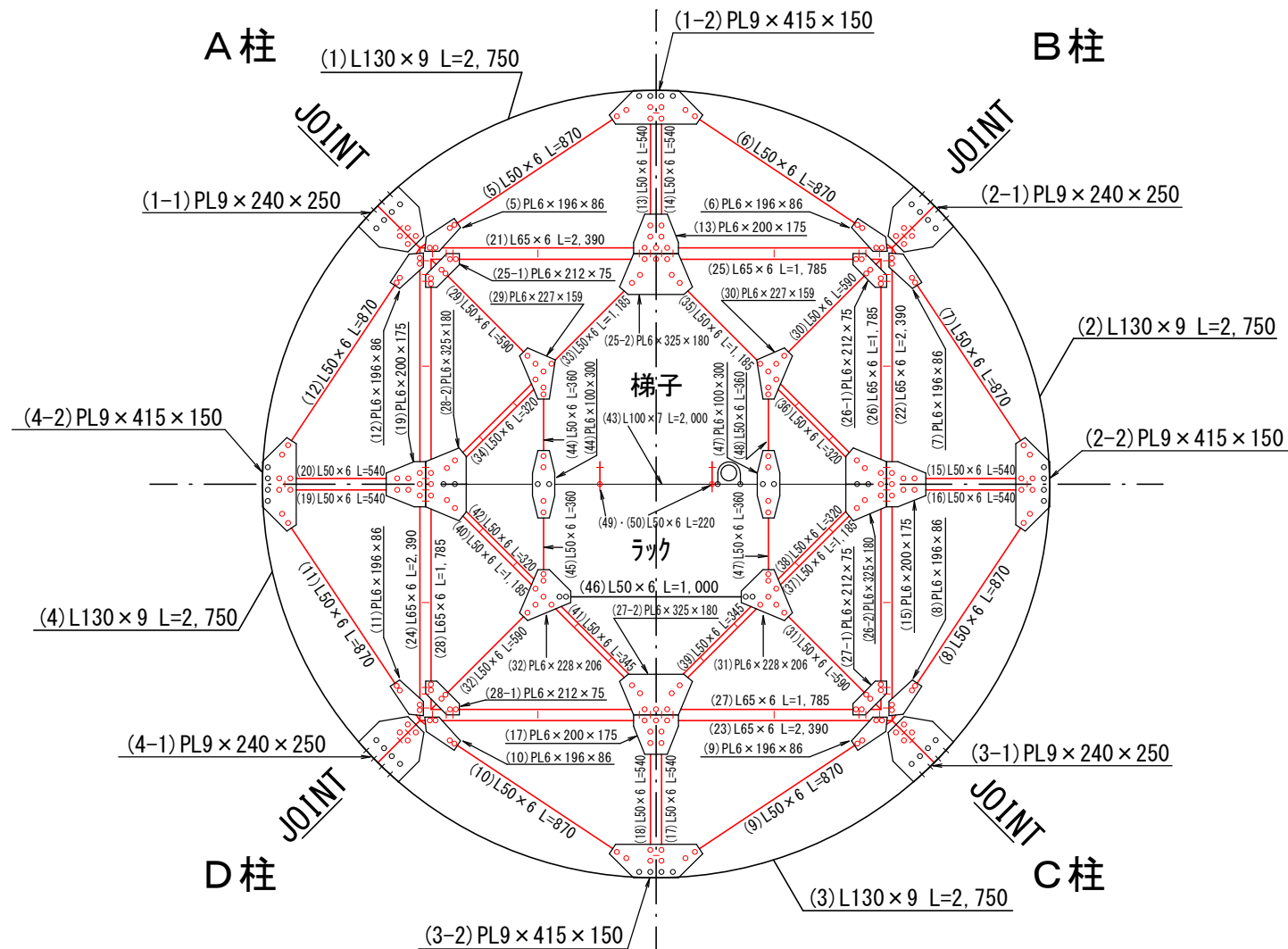
ボルト記号
× M12皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N. SW付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。



水平材								
No.	位置	部 材	長さ(mm) 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	A 平面	L130×9	2,750 mm	1	1	M16×40	8	8
1-1	"	PL9×240×250	0.0600 ㎡	1	1	M16×50	4	4
1-2	"	PL9×415×150	0.0623 ㎡	1	0			
2	"	L130×9	2,750 mm	1	1	M16×40	8	8
2-1	"	PL9×240×250	0.0600 ㎡	1	1	M16×50	4	4
2-2	"	PL9×415×150	0.0623 ㎡	1	0			
3	"	L130×9	2,750 mm	1	1	M16×40	8	8
3-1	"	PL9×240×250	0.0600 ㎡	1	1	M16×50	4	4
3-2	"	PL9×415×150	0.0623 ㎡	1	0			
4	"	L130×9	2,750 mm	1	1	M16×40	8	8
4-1	"	PL9×240×250	0.0600 ㎡	1	1	M16×50	4	4
4-2	"	PL9×415×150	0.0623 ㎡	1	0			
5	"	L50×6	870 mm	1	1	M16×40	4	4
5	"	PL6×196×86	0.0169 ㎡	1	0			
6	"	L50×6	870 mm	1	1	M16×40	4	4
6	"	PL6×196×86	0.0169 ㎡	1	0			
7	"	L50×6	870 mm	1	1	M16×40	4	4
7	"	PL6×196×86	0.0169 ㎡	1	0			
8	"	L50×6	870 mm	1	1	M16×40	4	4
8	"	PL6×196×86	0.0169 ㎡	1	0			
9	"	L50×6	870 mm	1	1	M16×40	4	4
9	"	PL6×196×86	0.0169 ㎡	1	0			
10	"	L50×6	870 mm	1	1	M16×40	4	4
10	"	PL6×196×86	0.0169 ㎡	1	0			
11	"	L50×6	870 mm	1	1	M16×40	4	4
11	"	PL6×196×86	0.0169 ㎡	1	0			
12	"	L50×6	870 mm	1	1	M16×40	4	4
12	"	PL6×196×86	0.0169 ㎡	1	0			
13	"	L50×6	540 mm	1	1	M16×40 M16×50 RF6	2 2 1	2 2 1
13	"	PL6×200×175	0.0350 ㎡	1	0			
14	"	L50×6	540 mm	1	1	M16×40 M16×50	2 2	2 2
15	"	L50×6	540 mm	1	1	M16×40 M16×50 RF6	2 2 1	2 2 1
15	"	PL6×200×175	0.0350 ㎡	1	0			

No.	位置	部 材	長さ(mm) 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
16	"	L50×6	540 mm	1	1	M16×40 M16×50	2 2	2 2
17	"	L50×6	540 mm	1	1	M16×40 M16×50 RF6	2 2 1	2 2 1
17	"	PL6×200×175	0.0350 ㎡	1	0			
18	"	L50×6	540 mm	1	1	M16×40 M16×50	2 2	2 2
19	"	L50×6	540 mm	1	1	M16×40 M16×50 RF6	2 2 1	2 2 1
19	"	PL6×200×175	0.0350 ㎡	1	0			
20	"	L50×6	540 mm	1	1	M16×40 M16×50	2 2	2 2
21	"	L65×6	2,390 mm	1	1	M16×40 M20×50	1 1 0	1 1 0
22	"	L65×6	2,390 mm	1	1	M16×40 M20×50	1 1 0	1 1 0
23	"	L65×6	2,390 mm	1	1	M16×40 M20×50	1 1 0	1 1 0
24	"	L65×6	2,390 mm	1	1	M16×40 M20×50	1 1 0	1 1 0
25	"	L65×6	1,785 mm	1	1	M16×40	7	7
25-1	"	PL6×212×75	0.0159 ㎡	1	0			
25-2	"	PL6×325×180	0.0585 ㎡	1	0			
26	"	L65×6	1,785 mm	1	1	M16×40	7	7
26-1	"	PL6×212×75	0.0159 ㎡	1	0			
26-2	"	PL6×325×180	0.0585 ㎡	1	0			
27	"	L65×6	1,785 mm	1	1	M16×40	7	7
27-1	"	PL6×212×75	0.0159 ㎡	1	0			
27-2	"	PL6×325×180	0.0585 ㎡	1	0			
28	"	L65×6	1,785 mm	1	1	M16×40	7	7
28-1	"	PL6×212×75	0.0159 ㎡	1	0			
28-2	"	PL6×325×180	0.0585 ㎡	1	0			
29	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16×40	4	4
30	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16×40	4	4
31	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16×40	4	4
32	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16×40	4	4
33	"	L100×7	1,850 mm	1	1	M16×40	1 0	1 0
34	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1
35	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1
36	"	L50×6	2,330 mm	1	1	M16×40	4	4
36-1	"	PL6×180×130	0.0234 ㎡	1	1	M16×40	2	2
36-2	"	PL6×80×75	0.0060 ㎡	1	0			
37	"	L50×6	2,330 mm	1	1	M16×40	4	4
37-1	"	PL6×180×130	0.0234 ㎡	1	1	M16×40	2	2
37-2	"	PL6×80×75	0.0060 ㎡	1	0			
38	"	L50×6	2,330 mm	1	1	M16×40	4	4
38-1	"	PL6×180×130	0.0234 ㎡	1	1	M16×40	2	2
38-2	"	PL6×80×75	0.0060 ㎡	1	0			
39	"	L50×6	2,330 mm	1	1	M16×40	4	4
39-1	"	PL6×180×130	0.0234 ㎡	1	1	M16×40	2	2
39-2	"	PL6×80×75	0.0060 ㎡	1	0			

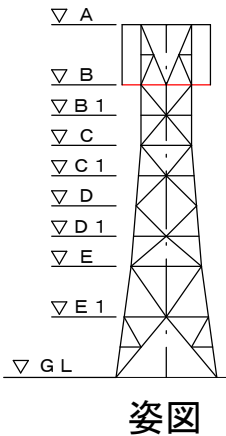
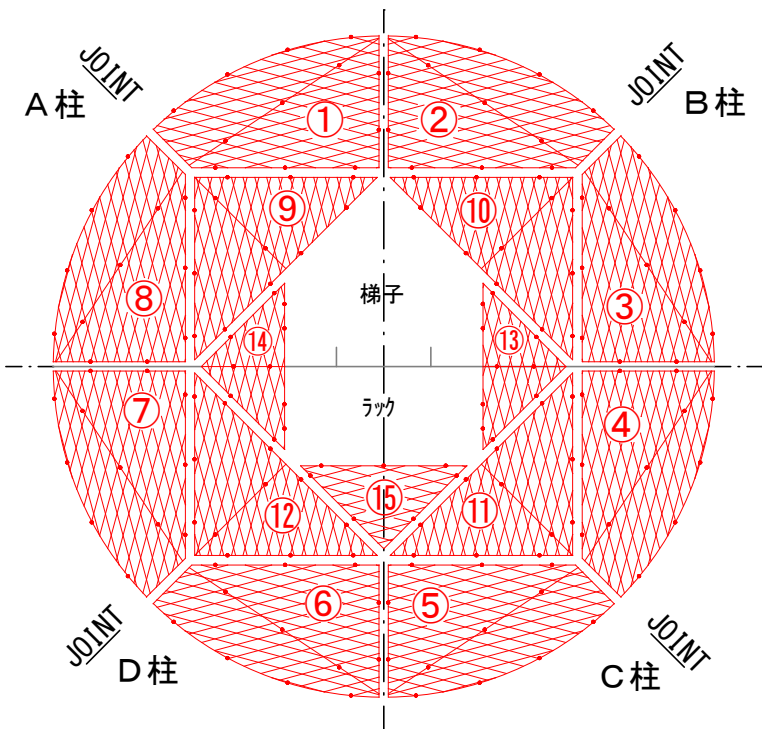
工事名称	防災行政用無線室古合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	鉄塔構造図(9) A面水平材
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-15
検 印	照 査 設 計 製 図	施 工 者	



(B) 平面

※1 赤色のボルトはM20×50、青色はM16×40とする。
※2 内のボルトは隣接する鋼材を接続するものであり、数量の重複を防ぐため、(21) (23)にのみ計上している。

(21)～(24)ボルト配置詳細図



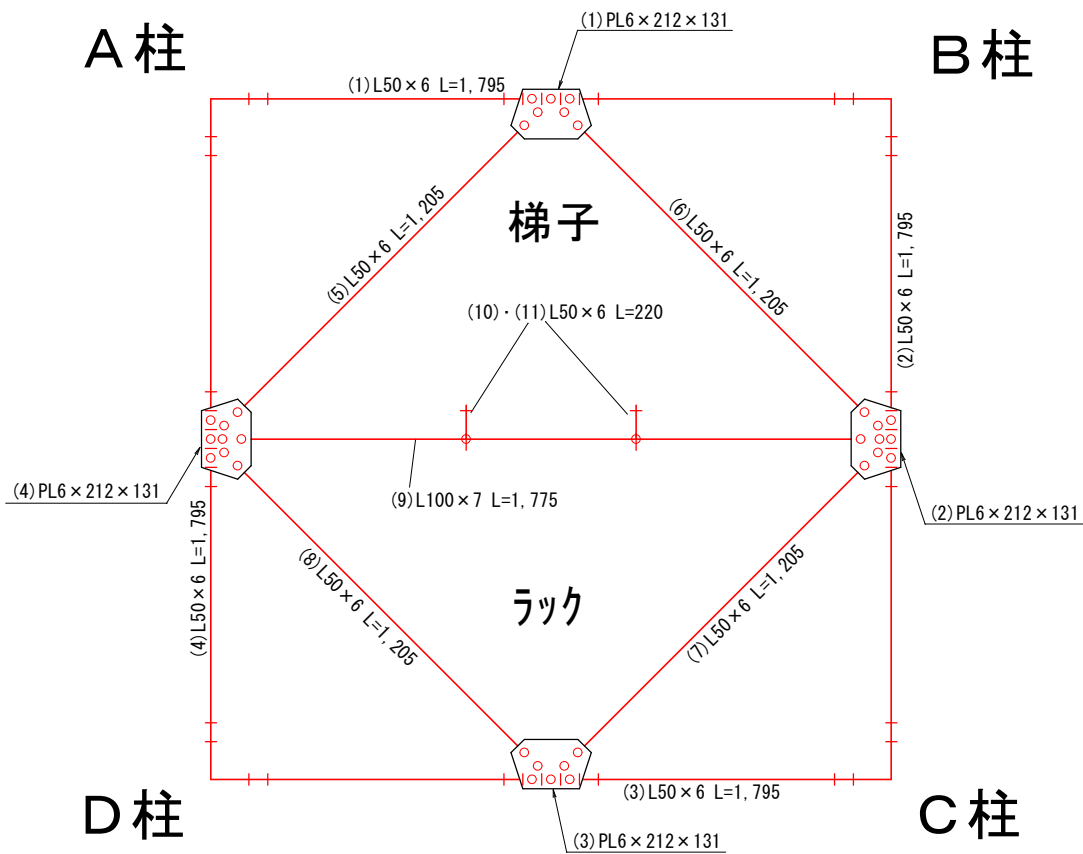
水平材									
No.	位置	部材	長さ(mm) 面積(m ²)	個数	取替	ボルト	個数	取替	
1	B平面	L130×9	2,750 mm	1	0	M16 x 40	8	0	
1-1	"	PL9×240×250	0.0600 m ²	1	0				
1-2	"	PL9×415×150	0.0623 m ²	1	0				
2	"	L130×9	2,750 mm	1	0	M16 x 40	8	0	
2-1	"	PL9×240×250	0.0600 m ²	1	0				
2-2	"	PL9×415×150	0.0623 m ²	1	0				
3	"	L130×9	2,750 mm	1	0	M16 x 40	8	0	
3-1	"	PL9×240×250	0.0600 m ²	1	0				
3-2	"	PL9×415×150	0.0623 m ²	1	0				
4	"	L130×9	2,750 mm	1	0	M16 x 40	8	0	
4-1	"	PL9×240×250	0.0600 m ²	1	0				
4-2	"	PL9×415×150	0.0623 m ²	1	0				
5	"	L50×6	870 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
5	"	PL6×196×86	0.0169 m ²	1	0				
6	"	L50×6	870 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
6	"	PL6×196×86	0.0169 m ²	1	0				
7	"	L50×6	870 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
7	"	PL6×196×86	0.0169 m ²	1	0				
8	"	L50×6	870 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
8	"	PL6×196×86	0.0169 m ²	1	0				
9	"	L50×6	870 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
9	"	PL6×196×86	0.0169 m ²	1	0				
10	"	L50×6	870 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
10	"	PL6×196×86	0.0169 m ²	1	0				
11	"	L50×6	870 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
11	"	PL6×196×86	0.0169 m ²	1	0				
12	"	L50×6	870 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
12	"	PL6×196×86	0.0169 m ²	1	0				
13	"	L50×6	540 mm	1	1	M16 x 40 M16 x 50 RF6	2 2 1	2 2 1	
13	"	PL6×200×175	0.0350 m ²	1	0				
14	"	L50×6	540 mm	1	1	M16 x 40 M16 x 50 RF6	2 2 1	2 2 1	
15	"	L50×6	540 mm	1	1	M16 x 40 M16 x 50 RF6	2 2 1	2 2 1	
15	"	PL6×200×175	0.0350 m ²	1	0				
16	"	L50×6	540 mm	1	1	M16 x 40 M16 x 50 RF6	2 2 1	2 2 1	
17	"	L50×6	540 mm	1	1	M16 x 40 M16 x 50 RF6	2 2 1	2 2 1	
17	"	PL6×200×175	0.0350 m ²	1	0				
18	"	L50×6	540 mm	1	1	M16 x 40 M16 x 50 RF6	2 2 1	2 2 1	
19	"	L50×6	540 mm	1	1	M16 x 40 M16 x 50 RF6	2 2 1	2 2 1	
19	"	PL6×200×175	0.0350 m ²	1	0				
20	"	L50×6	540 mm	1	1	M16 x 40 M16 x 50	2 2	2 2	

水平材									
No.	位置	部材	長さ(mm) 面積(m ²)	個数	取替	ボルト	個数	取替	
21	"	L65×6	2,390 mm	1	1	M16 x 40 M20 x 50	17 10	17 10	
22	"	L65×6	2,390 mm	1	1	M16 x 40 M20 x 50	13 10	13 10	
23	"	L65×6	2,390 mm	1	1	M16 x 40 M20 x 50	17 10	17 10	
24	"	L65×6	2,390 mm	1	1	M16 x 40 M20 x 50	13 10	13 10	
25	"	L65×6	1,785 mm	1	1	M16 x 40	7	7	
25-1	"	PL6×212×75	0.0159 m ²	1	0				
25-2	"	PL6×325×180	0.0585 m ²	1	0				
26	"	L65×6	1,785 mm	1	1	M16 x 40	7	7	
26-1	"	PL6×212×75	0.0159 m ²	1	0				
26-2	"	PL6×325×180	0.0585 m ²	1	0				
27	"	L65×6	1,785 mm	1	1	M16 x 40	7	7	
27-1	"	PL6×212×75	0.0159 m ²	1	0				
27-2	"	PL6×325×180	0.0585 m ²	1	0				
28	"	L65×6	1,785 mm	1	1	M16 x 40	7	7	
28-1	"	PL6×212×75	0.0159 m ²	1	0				
28-2	"	PL6×325×180	0.0585 m ²	1	0				
29	"	L50×6	590 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
29	"	PL6×227×159	0.0361 m ²	1	0				
30	"	L50×6	590 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
30	"	PL6×227×159	0.0361 m ²	1	0				
31	"	L50×6	590 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
31	"	PL6×228×206	0.0470 m ²	1	0				
32	"	L50×6	590 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
32	"	PL6×228×206	0.0470 m ²	1	0				
33	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16 x 40	7	7	
34	"	L50×6 (抱合せアングル)	320 mm	1	1	M16 x 40	2	2	
35	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16 x 40	7	7	
36	"	L50×6 (抱合せアングル)	320 mm	1	1	M16 x 40	2	2	
37	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16 x 40	7	7	
38	"	L50×6 (抱合せアングル)	320 mm	1	1	M16 x 40	2	2	
39	"	L50×6 (抱合せアングル)	345 mm	1	1	M16 x 40	2	2	
40	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16 x 40	7	7	
41	"	L50×6 (抱合せアングル)	345 mm	1	1	M16 x 40	2	2	
42	"	L50×6 (抱合せアングル)	320 mm	1	1	M16 x 40	2	2	
43	"	L100×7	2,000 mm	1	0	M16 x 40	14	4	
44	"	L50×6	360 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
44	"	PL6×100×300	0.0300 m ²	1	0				
45	"	L50×6	360 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
46	"	L50×6	1,000 mm	1	0	M16 x 40	4	0	
47	"	L50×6	360 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
47	"	PL6×100×300	0.0300 m ²	1	0				
48	"	L50×6	360 mm	1	1	M16 x 40	4	4	
49	"	L50×6	220 mm	1	1	M16 x 40	1	1	
50	"	L50×6	220 mm	1	1	M16 x 40	1	1	

注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。
ボルト記号
× M12 皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12 ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16 ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20 ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24 ボルト JIS N. SW付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

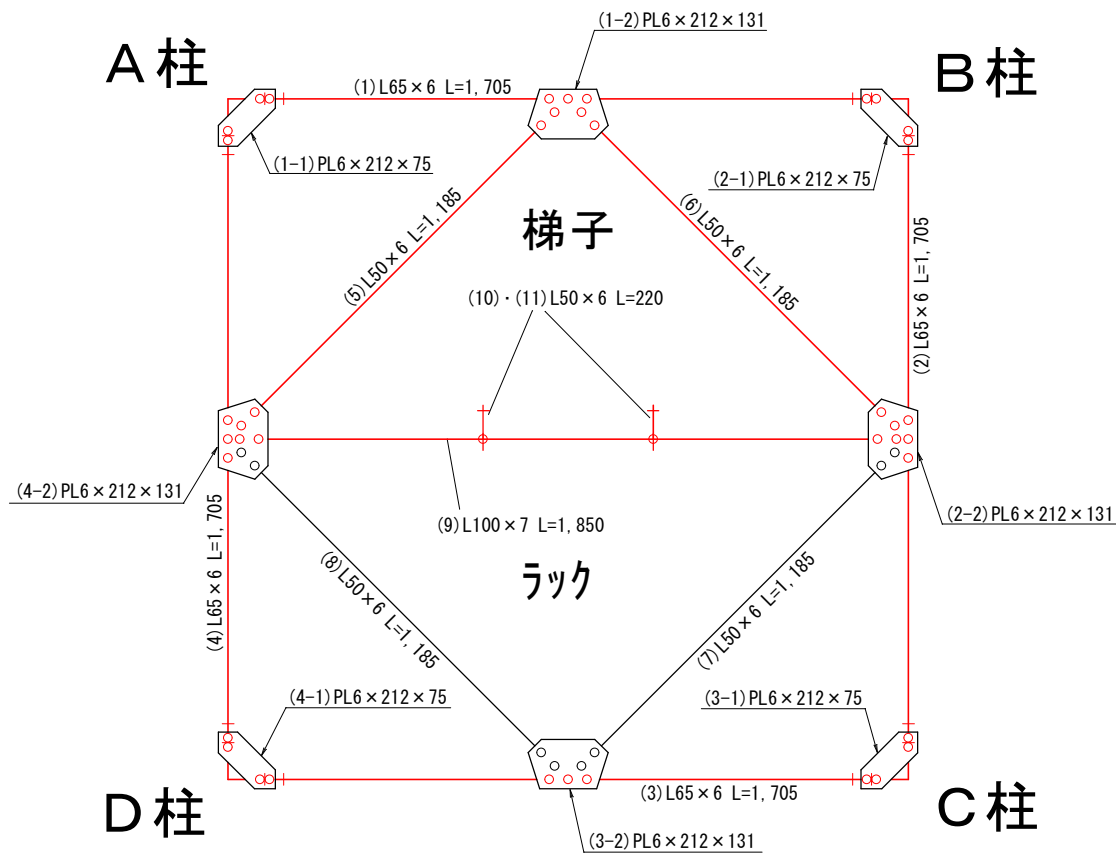
床メタル(B面)									
No.	位置	部材	長さ(mm) 面積(m ²)	個数	取替	ボルト	個数	取替	
1~8	B平面	XG22	0.78 m ²	8カ所	交換	M12 x 40	96	96	
"	"	FB50×6	3.226 m ²	8カ所	交換				
9~12	"	XG22	0.79 m ²	4カ所	交換	M12 x 40	48	48	
"	"	FB50×6	2.886 m ²	4カ所	交換				
13~14	"	XG22	0.27 m ²	2カ所	交換	M12 x 40	20	20	
"	"	FB50×6	1.604 m ²	2カ所	交換				
15	"	XG22	0.27 m ²	1カ所	交換	M12 x 40	7	7	
"	"	FB50×6	1.611 m ²	1カ所	交換				

工事名称	防災行政用無線装置合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	鉄塔構造図(10) B面水平材
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/15, 1/20
摘 要		図面番号	A-16
検 印	照 査 設 計 製 図	施 工 者	



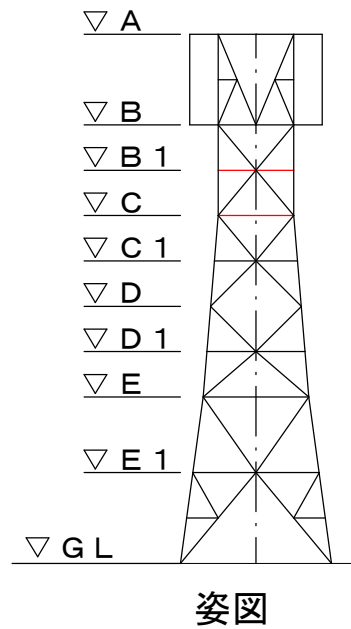
B1 平面

水平材								
N o .	位 置	部 材	長 さ (mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	B 1 平面	L50×6	1,795 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
1	"	PL6×212×131	0.0278 ㎡	1	0			
2	"	L50×6	1,795 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
2	"	PL6×212×131	0.0278 ㎡	1	0			
3	"	L50×6	1,795 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
3	"	PL6×212×131	0.0278 ㎡	1	0			
4	"	L50×6	1,795 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
4	"	PL6×212×131	0.0278 ㎡	1	0			
5	"	L50×6	1,205 mm	1	1	M16×40	4	4
6	"	L50×6	1,205 mm	1	1	M16×40	4	4
7	"	L50×6	1,205 mm	1	1	M16×40	4	4
8	"	L50×6	1,205 mm	1	1	M16×40	4	4
9	"	L100×7	1,775 mm	1	1	M16×40	8	8
10	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1
11	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1



C 平面

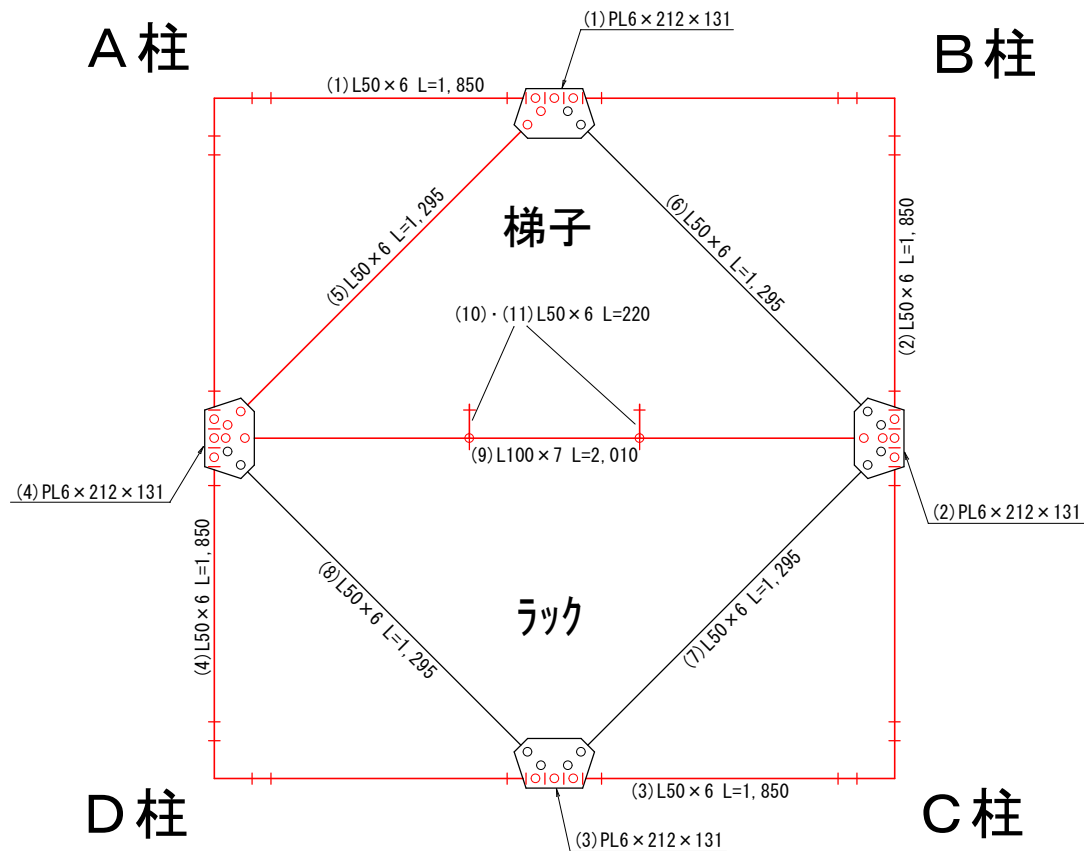
水平材								
N o .	位 置	部 材	長 さ (mm) 面 積 (㎡)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	C 平面	L65×6	1,705 mm	1	1	M16×40 M20×50	7 4	7 4
1-1	"	PL6×212×75	0.0159 ㎡	1	0			
1-2	"	PL6×212×131	0.0278 ㎡	1	0			
2	"	L65×6	1,705 mm	1	1	M16×40 M20×50	7 4	7 4
2-1	"	PL6×212×75	0.0159 ㎡	1	0			
2-2	"	PL6×212×131	0.0278 ㎡	1	0			
3	"	L65×6	1,705 mm	1	1	M16×40 M20×50	7 4	7 4
3-1	"	PL6×212×75	0.0159 ㎡	1	0			
3-2	"	PL6×212×131	0.0278 ㎡	1	0			
4	"	L65×6	1,705 mm	1	1	M16×40 M20×50	7 4	7 4
4-1	"	PL6×212×75	0.0159 ㎡	1	0			
4-2	"	PL6×212×131	0.0278 ㎡	1	0			
5	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16×40	4	4
6	"	L50×6	1,185 mm	1	1	M16×40	4	4
7	"	L50×6	1,185 mm	1	0	M16×40	4	0
8	"	L50×6	1,185 mm	1	0	M16×40	4	0
9	"	L100×7	1,850 mm	1	1	M16×40	8	8
10	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1
11	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1



注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。

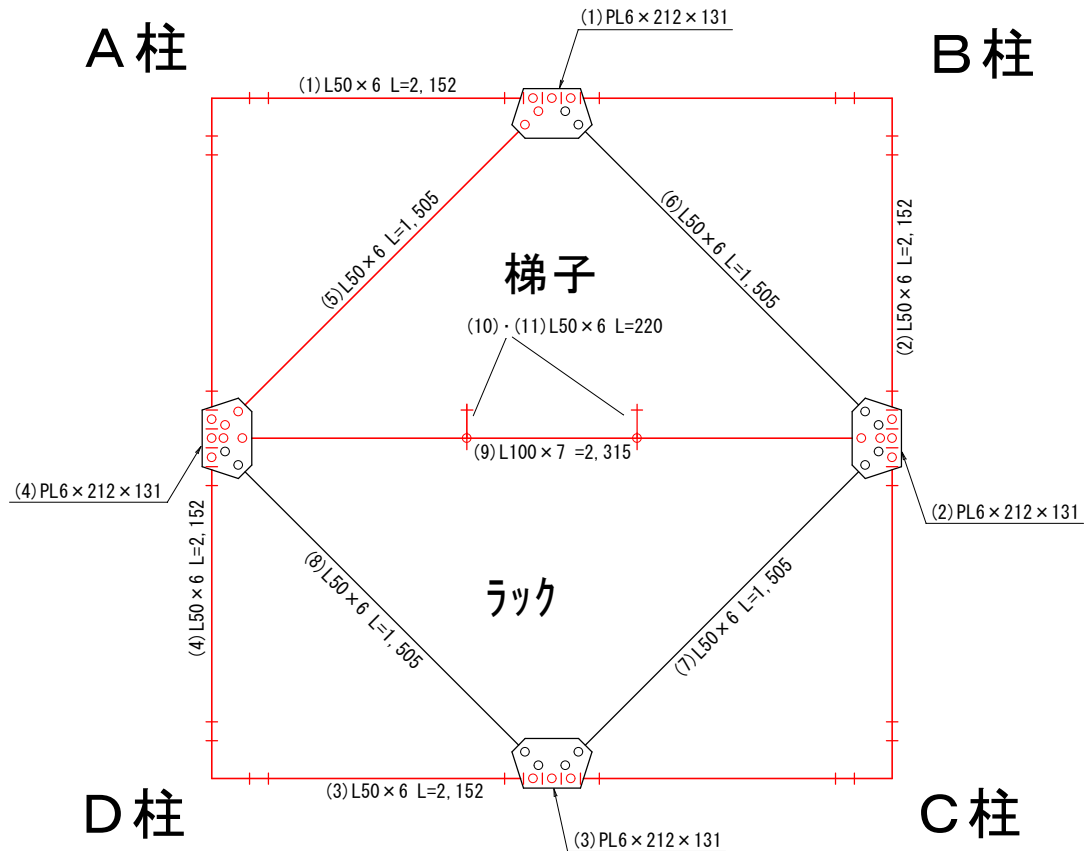
ボルト記号
× M12皿ボルト JIS N. SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N. SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N. SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N. SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N. SW付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	鉄塔構造図(11) B1/C面水平材
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/10
摘 要		図面番号	A-17
検 印	照 査 設 計 製 図 施 工 者		



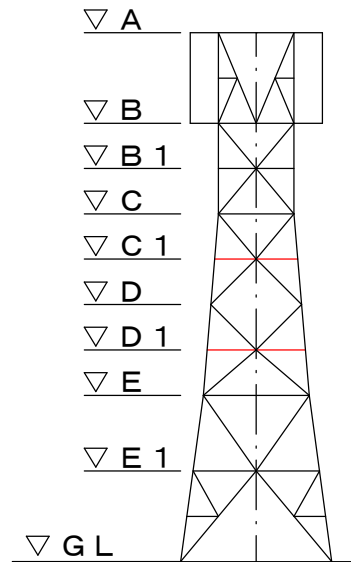
C1 平面

水平材								
No.	位置	部材	長さ(mm) 面積(m ²)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	C 1 平面	L50×6	1,850 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
1	"	PL6×212×131	0.0278 m ²	1	0			
2	"	L50×6	1,850 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
2	"	PL6×212×131	0.0278 m ²	1	0			
3	"	L50×6	1,850 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
3	"	PL6×212×131	0.0278 m ²	1	0			
4	"	L50×6	1,850 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
4	"	PL6×212×131	0.0278 m ²	1	0			
5	"	L50×6	1,295 mm	1	1	M16×40	4	4
6	"	L50×6	1,295 mm	1	0	M16×40	4	0
7	"	L50×6	1,295 mm	1	0	M16×40	4	0
8	"	L50×6	1,295 mm	1	0	M16×40	4	0
9	"	L100×7	2,010 mm	1	1	M16×40	8	8
10	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1
11	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1



D1 平面

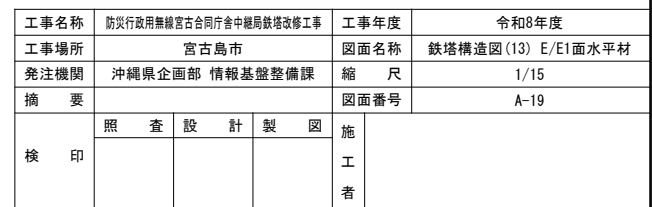
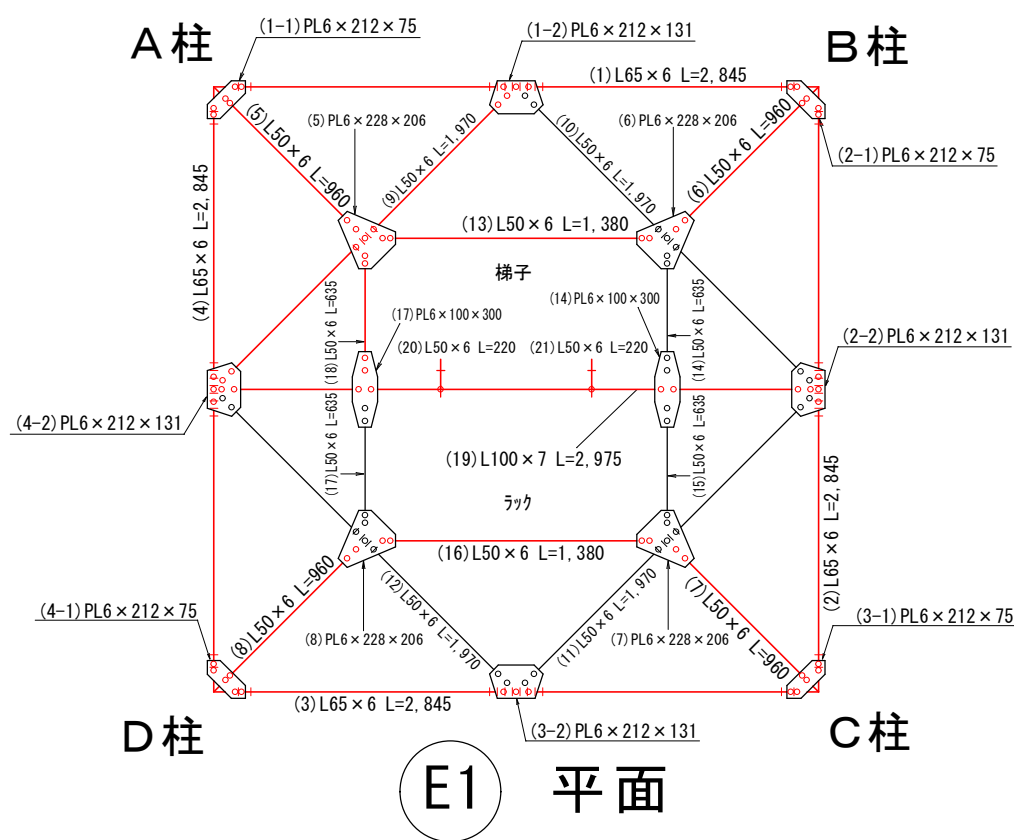
水平材								
No.	位置	部材	長さ(mm) 面積(m ²)	個数	取替	ボルト	個数	取替
1	D 1 平面	L50×6	2,152 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
1	"	PL6×212×131	0.0278 m ²	1	0			
2	"	L50×6	2,152 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
2	"	PL6×212×131	0.0278 m ²	1	0			
3	"	L50×6	2,152 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
3	"	PL6×212×131	0.0278 m ²	1	0			
4	"	L50×6	2,152 mm	1	1	M16×40	1 3	1 3
4	"	PL6×212×131	0.0278 m ²	1	0			
5	"	L50×6	1,505 mm	1	1	M16×40	4	4
6	"	L50×6	1,505 mm	1	0	M16×40	4	0
7	"	L50×6	1,505 mm	1	0	M16×40	4	0
8	"	L50×6	1,505 mm	1	0	M16×40	4	0
9	"	L100×7	2,315 mm	1	1	M16×40	8	8
10	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1
11	"	L50×6	220 mm	1	1	M16×40	1	1

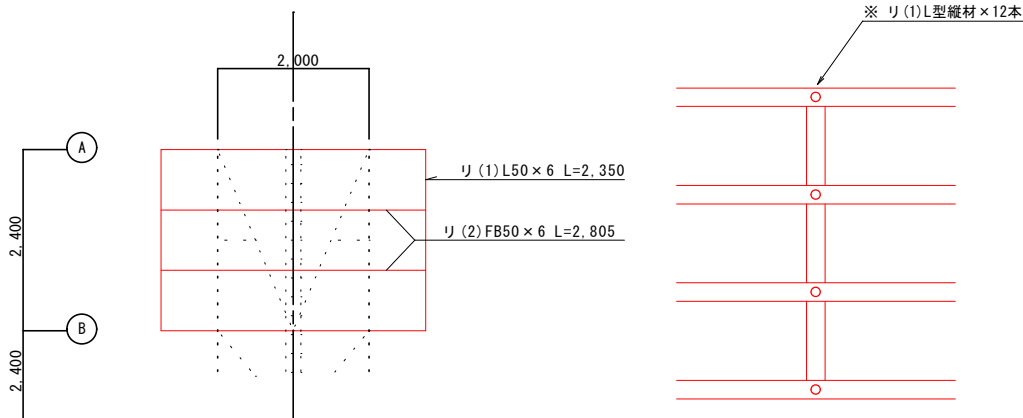


姿図

注 記
1) 指示なきプレートは PL6 とする。
2) 指示なきアングルは L50×6 とする。
3) 指示なきゲージは F/2 とする。
4) 指示なき部材の材質は SS400、STK400 とする。
5) HLは SS540 の山形鋼を示す。
ボルト記号
× M12皿ボルト JIS N、SW付 (SS400)
● M12ボルト JIS N、SW付 (SS400)
○ M16ボルト JIS N、SW付 (SS400)
◎ M20ボルト JIS N、SW付 (SS490)
⊗ M24ボルト JIS N、SW付 (SS490)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが取り付けられている場合は — で示す。

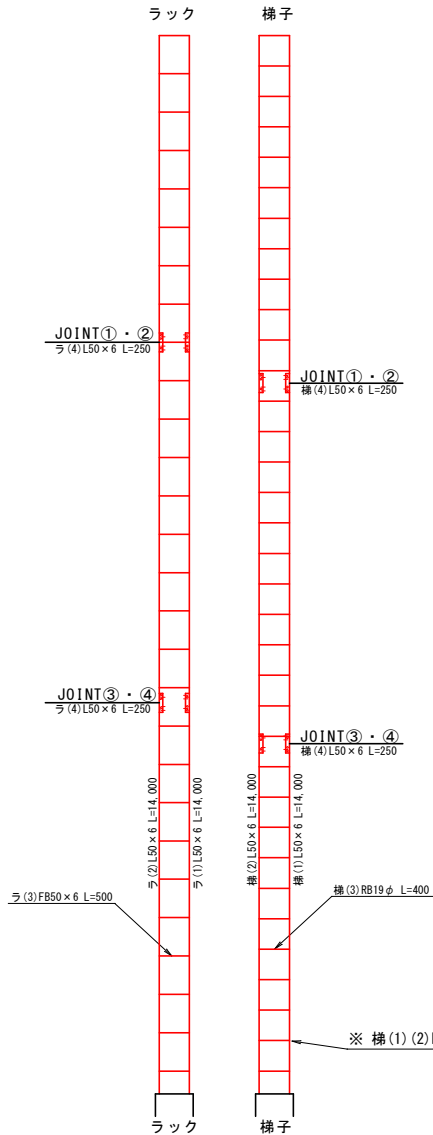
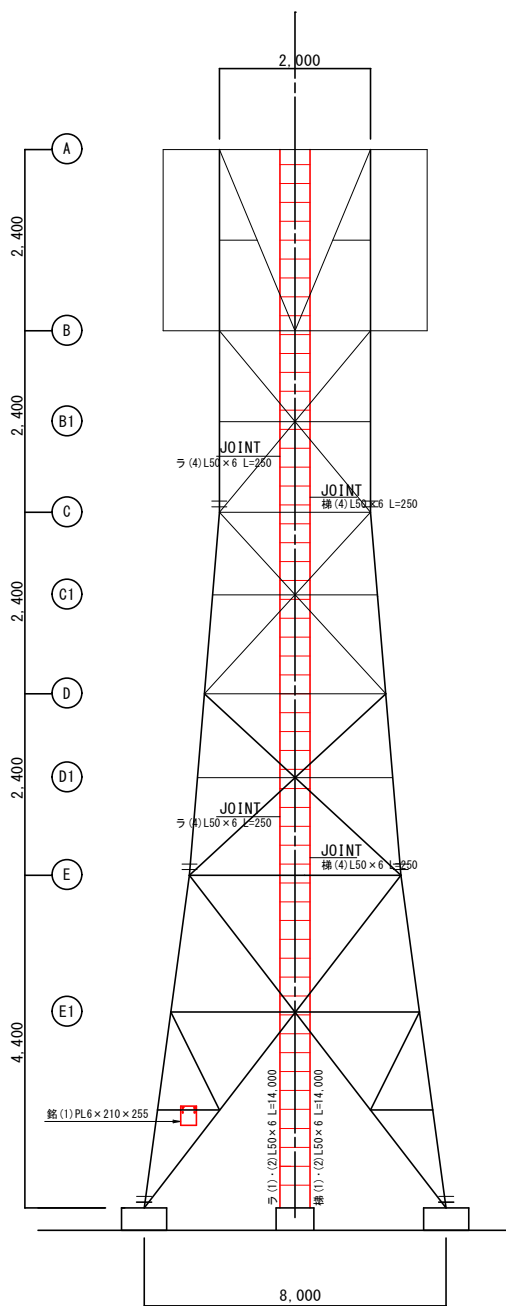
工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	鉄塔構造図 (12) C1/D1面水平材
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/20
摘 要		図面番号	A-18
検 印	照 査	設 計	製 図
	施 工	者	





リング側面

N o .	位 置	部 材	長さ(mm)	個数	取替	ボルト	個数	取替
リ (1)	縦 材	L50×6	2,350	1 2	1 2	M16×40	4 8	4 8
リ (2)	横 材	FB50×6	2,805	8	8			



梯 子

N o .	位 置	部 材	長さ(mm)	個数	取替	ボルト	個数	取替
梯 (1)	A～ベース	L50×6	14,000	1	1			
梯 (2)	A～ベース	L50×6	14,000	1	1			
梯 (3)	A～ベース	RB19φ (梯子丸棒)	400	3 5	3 5			
梯 (4)	A～ベース	L50×6 (ｼﾞｮｲﾝﾄ)	250	4	4	M16×40	2 4	2 4

ラ ッ ク

N o .	位 置	部 材	長さ(mm)	個数	取替	ボルト	個数	取替
ラ (1)	A～ベース	L50×6	14,000	1	1			
ラ (2)	A～ベース	L50×6	14,000	1	1			
ラ (3)	A～ベース	FB50×6	500	2 8	2 8	M16×40	5 6	5 6
ラ (4)	A～ベース	L50×6 (ｼﾞｮｲﾝﾄ)	250	4	4	M16×40	2 4	2 4

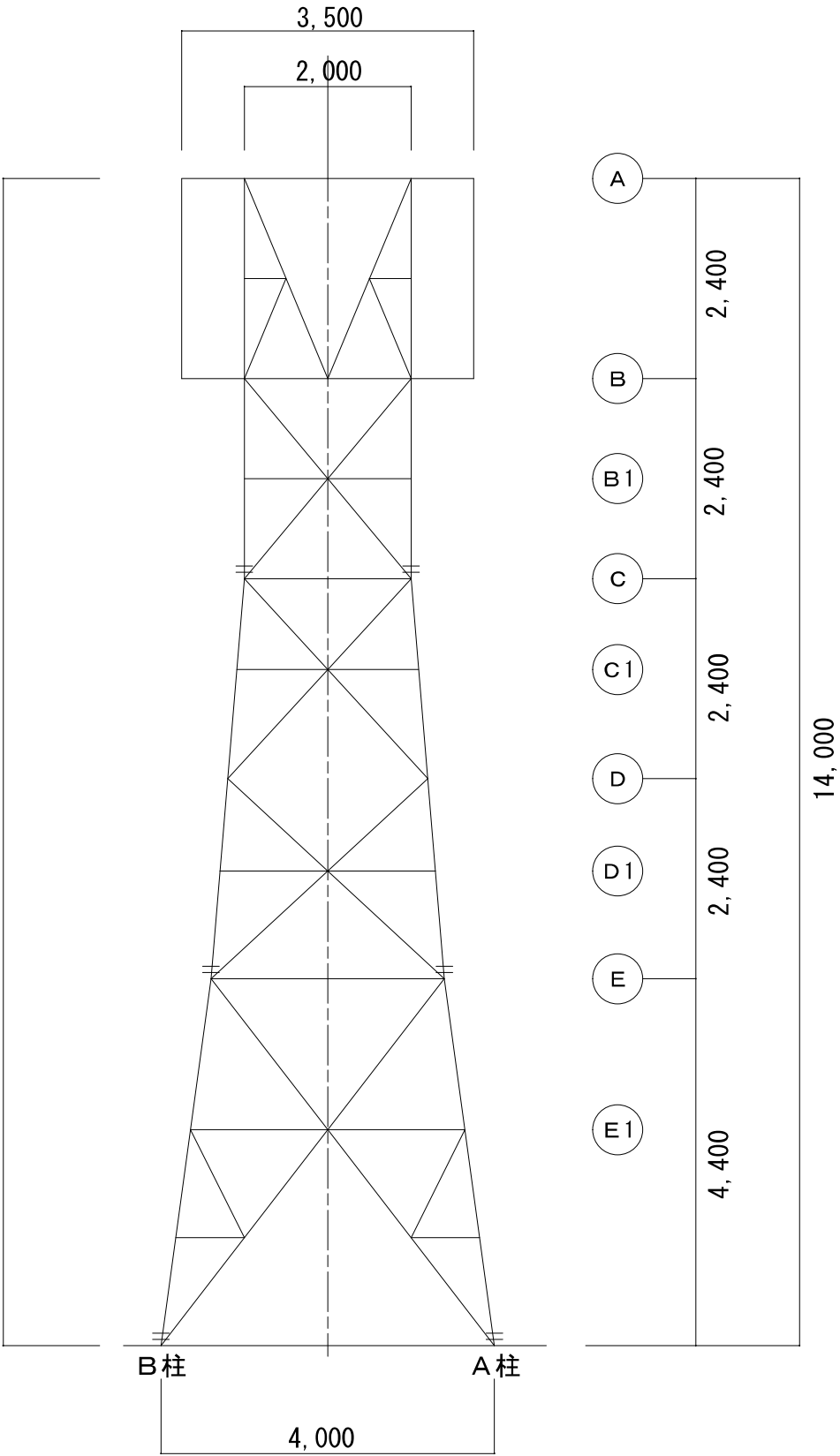
銘 板

N o .	位 置	部 材	面積(m ²)	個数	取替	ボルト	個数	取替
銘 (1)	ベース付近	PL6×210×255	0.0536	1	1	M10 L50用Vﾎﾞﾙﾄ	2	2

注 記
1) 指示なきプレートは P L 6 とする。
2) 指示なきアングルは L 5 0 × 6 とする。
3) 指示なきゲージは F / 2 とする。
4) 指示なき部材の材質は S S 4 0 0 , S T K 4 0 0 とする。
5) H L は S S 5 4 0 の山形鋼を示す。
ボルト記号
× M 1 2 皿ボルト J I S N , S W 付 (S S 4 0 0)
● M 1 2 ボルト J I S N , S W 付 (S S 4 0 0)
○ M 1 6 ボルト J I S N , S W 付 (S S 4 0 0)
◎ M 2 0 ボルト J I S N , S W 付 (S S 4 9 0)
⊗ M 2 4 ボルト J I S N , S W 付 (S S 4 9 0)
— 鋼材により隠れてしまう等、視認できない箇所にボルトが
取り付けられている場合は — で示す。

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事	工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市	図面名称	鉄塔構造図 (14) リング/ラック/梯子
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課	縮 尺	1/50
摘 要		図面番号	A-20
検 印	照 査 設 計 製 図	施 工 者	

鉄塔基礎部より最上部まで
単管足場にて組立を行う

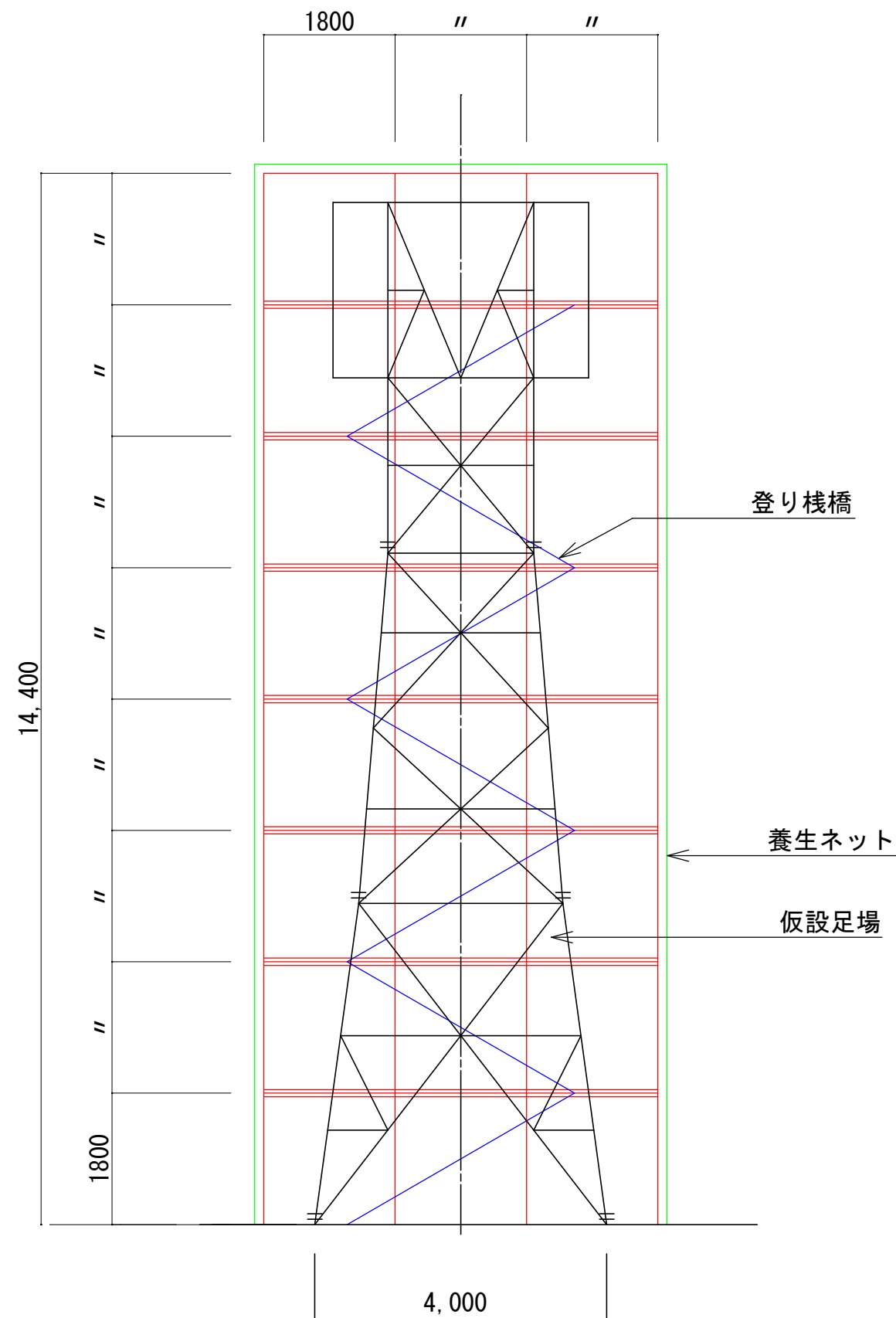


塗装概要図

- ・鉄塔補修塗装 ポリウレタン仕上げ
- ①洗浄：214㎡
- ②乾式塗膜剥離（ケレン）：77㎡
- 下塗：214㎡ × 2回
- 中塗：214㎡
- 上塗：214㎡

- 注記
- 既存塗膜（鉛・クロム基準値以下）の除去
 - 除去工法：交換対象外の部材に対して、乾式による塗膜剥離工法を用いて既存の塗膜を除去する
 - 処分方法：産業廃棄物処分
 - 塗装
 - 鉄塔本体全て塗装を行う
 - 素地ごしらは、2種ケレンとする
 - 塗装仕様については、JIS K 5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）塗料と同等以上の塗料を選定する。
 - 塗装色：グレー

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度	
工事場所	宮古島市			図面名称	塗装概要図	
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	1/40	
摘 要				図面番号	A-21	
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者		



仮設足場設置図

1/40

・ 仮設足場

① 立面

$$14.4\text{m} \times 5.4\text{m} = 77.76\text{m}^2$$
$$77.76\text{m}^2 \times 4\text{面} = 311.04\text{m}^2$$

② 平面

$$5.4\text{m} \times 5.4\text{m} = 29.16\text{m}^2$$
$$29.16\text{m}^2 \times 7\text{段} = 204.12\text{m}^2$$

(立面) (平面)

$$311.04\text{m}^2 + 204.12\text{m}^2 = 515.16\text{m}^2$$

計 515m²

・ 養生シート

① 立面

$$14.4\text{m} \times 5.4\text{m} = 77.76\text{m}^2$$
$$77.76\text{m}^2 \times 4\text{面} = 311.04\text{m}^2$$

計 311m²

・ 登り栈橋

① 立面

$$3.6\text{m} \times 7\text{段} = 25.2\text{m}$$

計 25.2m

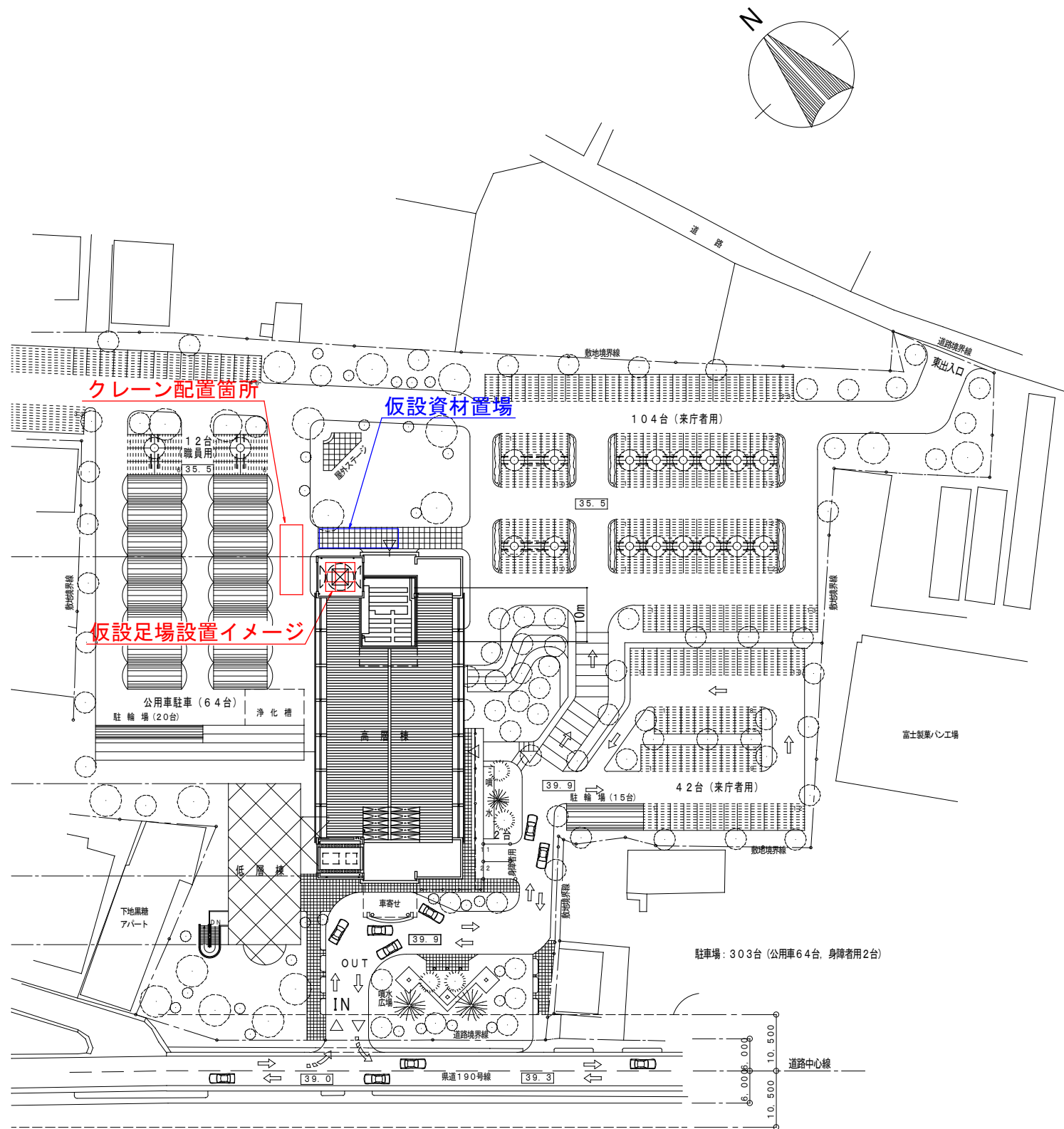
・ 安全手摺

① 平面 (最上部のみ設置)

$$5.4\text{m} \times 4\text{面} = 21.6\text{m}$$

計 21.6m

工事名称	防災行政用無線室古合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市			図面名称	仮設足場設置図
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮 尺	1/40
摘 要				図面番号	A-22
検 印	照 査	設 計	製 図	施 工 者	

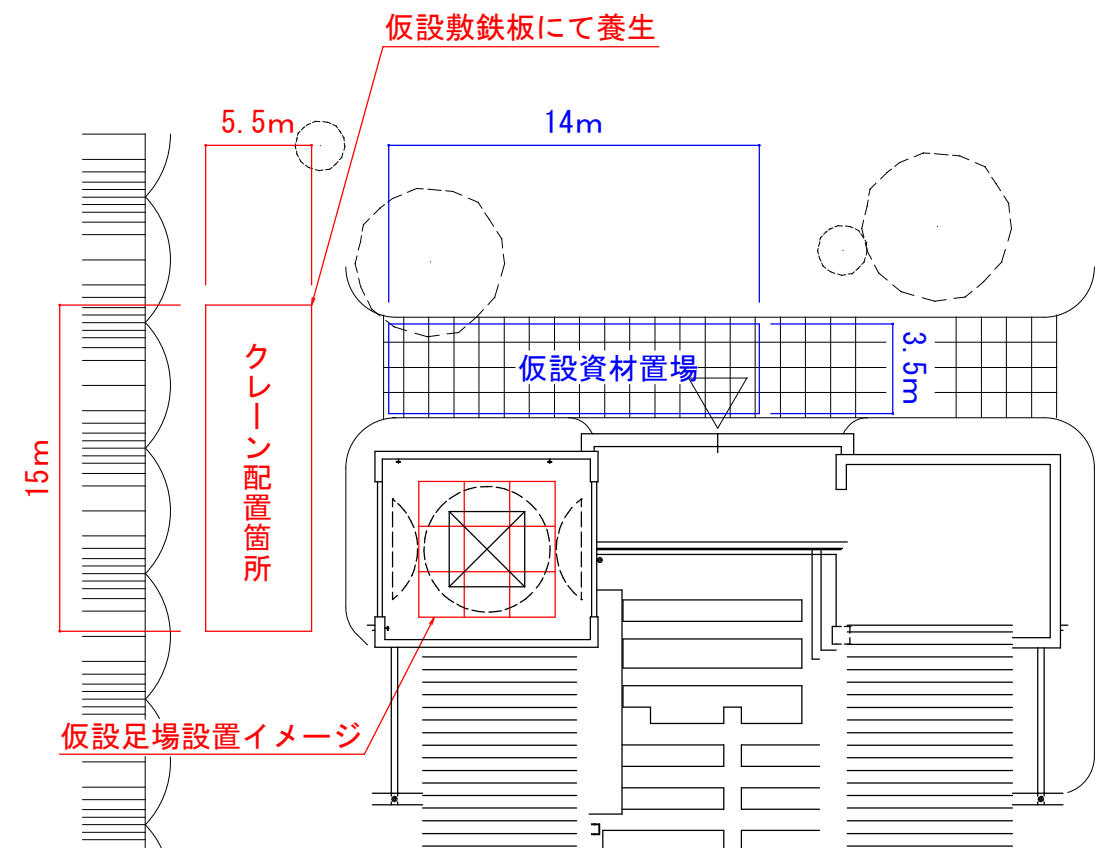


宮古合同庁舎クレーン計画平面図

1/500

注記

- ・クレーン配置・仮設資材置場の位置については工事着手前に施設管理者と調整すること。
- ・クレーンと仮設敷鉄板は、荷上げ・下げ時に各1.5日配置する。



宮古合同庁舎クレーン計画詳細図

1/150

工事名称	防災行政用無線宮古合同庁舎中継局鉄塔改修工事			工事年度	令和8年度
工事場所	宮古島市			図面名称	仮設計画図
発注機関	沖縄県企画部 情報基盤整備課			縮尺	1/150, 1/500
摘要				図面番号	A-23
検印	照	査	設	計	製
				図	施
				工	者